

(プロモーション活動で得られた課題や展望等)

- ・ 沖縄の修学旅行は上位3位に入っており、ニーズが高いままである。
- ・ 平和学習の関心度は高い状況が続いている。
- ・ 世界自然遺産登録の認知度は今後伸びるという意見があった。
- ・ 世界自然遺産ではインパクトが弱いと、他の世界遺産と関連付けるプログラム作りを要望する意見があった。
- ・ 旅行社からホテル1泊、民泊1泊の「ホテルセット」メニューを商品化して欲しいという声があった。
- ・ 地方は地域の旅行社を使用しているため、大手以外の地域の旅行社への営業も必要である。
- ・ バス代の高騰が続いている。

(エリアで取り組むべき課題)

- ・ 各村の異なった特徴が見いだせるような、より良い魅力を発掘させることが必要。
- ・ 3村を周遊できる体験滞在交流型の地域活性化と経済効果に繋がる連携商品開発が必要。

(今後のエリア連携について)

- ・ やんばるの認知度は低いと、周遊や観光消費を地域全体に行きわたらせるために、情報発信が必要。
- ・ 世界自然遺産登録に伴うインバウンド対策も必要であり、広域的に対処・対応が求められる。
- ・ 売込みも大切だが、受入体制の整備も並行して実施していかなければならない。

c. 成果品

・ 世界自然遺産 PR 用 3 村共通ロゴマーク

世界自然遺産登録を目指す 3 村が共通で使用できるロゴマーク。
今後パンフレットや横断幕、その他の用途でも使用予定。



・世界自然遺産登録 PR 用パンフレット作成（カラー8p）

制作部数：3 万部

内容：1 ページ 3 村でやんばるをイメージさせるものを掲載

2・3 ページ やんばるの森（イタジイの森）をイメージさせるものを掲載

4・5 ページ 世界自然遺産候補地になった理由を掲載

6・7 ページ 3 村でできる体験メニューや特産品などの掲載

8 ページ お祭りや花の時期など年間スケジュールを掲載



JTA 機内誌「Coralway」記事掲載

（見開き 2 ページ、JTA 全路線平成 29 年 3 月 1 日～ 4 月 30 日搭乗機掲載、5 万部発行）



「おきなわいちば」57 号記事掲載

（見開き 2 ページ、平成 28 年 12 月発売、2 万部発行）



世界自然遺産 PR 用横断幕（幅 3 m×高 1 m）6 枚作成

設置場所：各村に 1 枚ずつ配布し、さらに下記 2 箇所に設置



横断幕設置場所

① 海洋博公園内



② 許田インター料金所手前



(3)成果と課題

①事業の成果

■連携の促進

- 連携体制の必要性、機能、役割分担などについて、エリアの取組みを通し、やんばる地域全体のことを考えることで、さらに連携の必要性を認識する機会となった。
- 各エリアの企画会議では、平成 29 年度以降の自立に向けた取組みが主な検討内容となっており、連携の維持と事業化に向けた意識が高まっている。
- 複数の市町村が各エリアの取組みで、相互の人的ネットワークが強化され、連携の意識が育ったことは、当事業の大きな成果である。

■事業化の課題明確化

- 「(仮称)やんばる観光市町村等連絡協議会」の設立に向け、準備会の発足が確認された。
- 5つのエリアで、昨年度の連携プロジェクトを踏まえ、それぞれ事業化・商品化に取り組むにあたっての可能性と課題が明らかになった。

②事業の課題

■自立運営に向けた取組み

- 「(仮称)やんばる観光市町村等連絡協議会」については、自立運営が課題とされており、WEB サイトや案内コーナーの運営を維持拡大しながら、収益事業の創出による財源確保を進める必要がある。
- 各エリア連携プロジェクトは、事業化のための営業活動を引き続き行い、地域への経済効果を高める取組みとして発展、定着させていく必要がある。
- 各エリアで事務局機能を持った場合の協力体制、営業方法、利益配分、負担金などを検討する必要がある。

■事業化の検討

- 情報発信やプロモーション、ニーズ調査などの取組みを今後継続していくためには、事業の採算性を検証し、事業内容・事業規模などの明確化とともに、財源の確保においては、様々な制度の研究に加え、WEB サイト等を活用して、観光客や県民のサポーターを確保していくような取組みを検討する。
- エリア別で取組んだ商品化の検討に伴い、事業採算をシミュレーションする段階であり、窓口を含め、どれだけの人数を誘客し、どの程度の規模の商品を市場として考えているのか検討する必要がある。事業計画は、各エリアから商品価格などを含めた形での提出が求められる。

第2章 情報集約・発信

2-1. 情報サイトの充実強化

(1)目的

平成 24 年度事業において、情報の集約・発信の必要性があげられ、平成 25 年度にはやんばるの観光情報を発信する WEB サイトを制作し、情報収集・発信の仕組みを作ってきた。

平成 25 年度に制作した WEB サイト(沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト)では、「情報の更新」に重点を置き、最新情報、現地情報の投稿の仕組みを作ってきた。これらの結果を受け、平成 26 年度は Facebook ページの開設、「やんばるイベント」アプリダウンロードの開始、「やんばるの観光」リーフレットのダウンロードの開始(日本語・英語・中国語・韓国語)、「やんばる Drive SHOPPING&GOURMENT」ページの開設を行った。

平成 27 年度には、さらなる情報集約・発信強化のための取組みとして、Facebook への投稿を1日2回に増やし、またインバウンドへの対応として、中国語に翻訳した記事を掲載した。

WEB サイトは、Facebook から誘導する目的のためリニューアルを行った。WEB サイト上に直接記事を投稿できるシステムを整備し、それを Facebook とリンクさせることで WEB サイトへの誘導を促進した。

これらの結果を受け、平成 28 年度は情報サイトの更なる充実・強化を図り、アクセス数の増加を図った。

(2)実施概要

平成 25 年度に開設した本事業の専用 WEB サイト「沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト」の充実を図るため、下記の取組みを実施した。

①WEBサイト強化のための取組み

a. WEB サイトトップページ変更

- 今までのトップページは多くの情報を掲載していたが、整理されていなかったため見づらいという課題があり、レイアウトの変更を行った。
- 注目記事や新着記事など、記事により表記を変えることで、WEB に動きを持たせ、閲覧者に興味が出るように変更をした。
- トップ画面で Facebook や Twitter の最新内容を閲覧できるようにし、更に Instagram や YouTube へのリンクを貼り付け、多方面にアクセスできるようにした。

図表 WEB サイトトップページ

沖縄北部観光情報
コミュニケーションサイト

「やんばるの旬で最新の観光情報を毎日更新！」
「あなたの欲しい情報がきっと見つかる！」

メールマガジン登録

言語を選択

ホーム

観光記事一覧

目的別旅行プラン

やんばるドライブ

やんばるとは

観光情報
FACEBOOK一覧

多言語



大宜味村 ウンガミ



東村の森 RINGO CAFE



那覇湾

新着記事 記事一覧を見る



今帰仁村民体育館裏の展望広場
今日は名桜大学の生徒14名と今帰仁村3ヶ所の老人会との交流グ...続きを読む



Ringo Cafe カラフルな色合い
フランス人シェフが、こんなに繊細で美味しいスイーツを作っ...続きを読む



本格派ハンバーガー とらべべ
スペシャルバーガーと、どちらにしようか悩みましたが、初めてのな...続きを読む

注目記事 注目記事を見る



やんばる 桜の開花状況 2月10日
現在開花状況は八分咲の今帰仁遺跡では、サクランボの葉がついて...続きを読む



日本一早い！ももふ八重岳夜まつり
この日は雨が降っていましたが、このくさいの町でへこたれる花び...続きを読む



花が好きなら今！本朝町で色とりどりの花
本朝町の田舎の駅ハーソー公園にあるあざやかな黄色の花が付くこ...続きを読む

お知らせ お知らせ一覧

2017年1月20日
メールマガジン始めました！...続きを読む



観光マップ
フリーレット
ドライブMAP

沖縄北部観光情報コミュニケーション...



あなたと他愛無14人が「いいね！」しました

@okinawa_yanbaruさんのツイート



Yanbaru-tour @okinawa_yanbaru
名護湾曇り空、明日に期待しましょうね。
明日より春のらん展示会が始まる。道の駅許田観光案内所
どうぞお立ち寄りください、情報満載です、お待ちしております。

関連情報



沖縄県の観光トピックス、知事の日程とギャラリー



やんばる旅 YANBARU TRAVEL
沖縄北部の旅行ガイド情報を集めたポータルサイト



iダンスネット
沖縄県北部12市町村をつなぐ、総合ポータルサイト



おきなわ物語

52

b. WEB サイトへの誘導

- WEB サイトへの誘導を促すため、記事に興味を持ってもらう目的で Facebook 上に動画で分かりやすく伝え、詳細情報については WEB サイトのリンク先を貼りつけた。
- Twitter と同期し、WEB サイトの記事投稿を Twitter でも通知した。

c. WEB サイトの記事カテゴリ検索

- WEB サイト記事の見たい記事や興味のある記事を検索できるようにカテゴリ分けを行い、やんばるの魅力を手軽に閲覧できるようにした。
- カテゴリは地域を含めて 9 つに区分けを行い、さらに細かくジャンル分けを行った。

図 観光記事一覧カテゴリ検索

定番	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
全て	定番食べる	定番見る	定番お土産	定番体験					
食べる	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
全て	そば	カフェスイーツ	ランチ	夕食	居酒屋				
見る	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
全て	朝日夕日	景色	海	施設					
お土産	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
全て	食べ物	飲み物	工芸品	〇〇の駅観光店					
体験	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
全て	マリン	アウトドア	スポーツ	作る	民宿 (ホームステイ型)				
特集	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
全て	食べ物	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	通年			
ディープ	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
全て	食べる	見る	お土産	体験	うんちく				
子どもと一緒に	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
全て	食べる	見る	体験						
地域	定番	食べる	見る	お土産	体験	特集	ディープ	子どもと一緒に	地域
名瀬市	園田村	大賀味村	東村	今帰仁村	本部町	西納村			
百野座村	金武町	伊江島	伊早屋島	伊是名島					

d. エリア別プロジェクトページとの連携

- エリア別プロジェクトで作成したパンフレットを沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトに集約させ、各エリアの取組みや造成した商品など、当事業で実施した内容の集大成として情報提供できるようにした。

表 エリア別 WEB サイト導入ページ内容

エリア名	目的	内容
本部半島・伊江島エリア	アウトドアスポーツを楽しむ旅	アウトドアスポーツコースの紹介
南エリア	スポーツでリフレッシュする旅	女子スポーツ誘致、施設紹介
いいなエリア	琉球の歴史を探る旅	歴史探訪ツアー
東海岸エリア	暮らすように泊まる旅	大人の民泊（ホームステイ型）、キッズスクール等宿泊の紹介、地域観光資源（地域10選）の紹介
北エリア	大自然を体感する旅	3村の宿泊、文化、特産品、アクティビティの紹介

図 エリア別 WEB サイト導入ページ



図 本部半島・伊江島エアートップページ



図 南エアートップページ



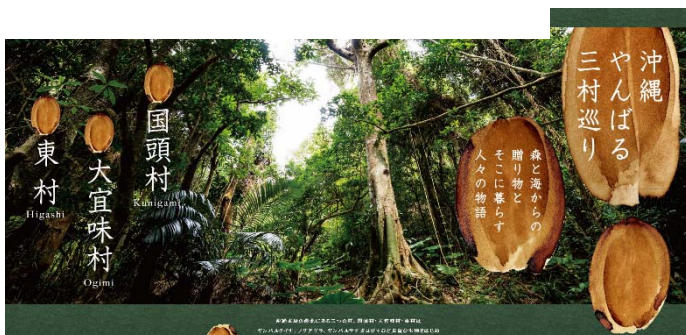
図 いいなエアートップページ



図 東海岸エアートップページ



図 北エアートップページ



e. インバウンドへの対応

インバウンドへの対応として、やんばるの周遊・消費を促すため、12市町村の観光スポットを掲載した「Deep Okinawa YANBARU」多言語ページ(英語・中国語繁体字・中国語簡体字・韓国語)を作成した。

図 インバウンド多言語トップページ



f. Twitter アカウントの作成

- Twitter アカウント「Yanbaru Tour」を今年度6月より始動させ、毎日1回は最新の観光情報を随時配信した。
- フォロワーは 91 人と少ないが、徐々に増えている。

図 Twitter トップ画面



②利用実績

a. WEB サイトアクセス状況

(訪問数)

- WEB サイト「沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト」について、平成 28 年 10 月からの訪問数を項目別に見てみると、最も多いのは SNS である。
- WEB サイトでの情報取得については、ページビュー（ページ閲覧数、以下 PV という）数が多いほど、ページにとどまって多くの情報を取得しているものと推測できる。Facebook から誘導する前の 11 月 PV 数は 20,000 までであったが、Facebook から WEB サイトへ誘導後の 12 月からは毎月 30,000 を超えている。また、アクセス数も 9,000 を超えている。
- 6 月に Twitter を加え、Facebook と Twitter から WEB サイトへ誘導するシステムに変更した 12 月からは、SNS からのアクセス数が急激に伸びるが、その後 2 月は、野球キャンプやさくらの開花状況など時期的な内容のため Facebook で完結する記事が多く、Web へ誘導する記事が少なくなり、また Facebook 記事の反応が低かったためアクセスも減少した。
- 10 月 6 日～2 月 28 日までの WEB サイト利用者は、アクセス数 49,494 を稼働日数 146 日で割り、339 人/日となった。

表 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトへの項目別アクセス数

月別	アクセス数					PV		直帰率	新規率	1件当たりの滞在時間(分)
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
	検索エンジン	SNS	リンク	直接入力	合計	月別PV	PV数/件			
10月	2,264	105	110	510	2,989	12,398	4.1	80%	37%	1:44
11月	2,863	2,620	123	647	6,253	20,528	3.3	75%	37%	1:04
12月	2,203	12,199	105	1,409	15,916	47,407	3.0	53%	30%	0:48
1月	2,600	11,149	192	1,188	15,129	47,554	3.1	49%	24%	0:51
2月	2,402	5,633	343	829	9,207	31,391	3.4	85%	54%	1:01
合計	12,332	31,706	873	4,583	49,494	159,278				

項目別カウント ※2017年2月28日までの集計

- ①検索エンジンからの訪問者数
- ②ソーシャルメディアからの訪問者数
- ③他のサイトリンクからの訪問者数
- ④ブラウザのブックマーク、URL 直接入力、メールにある URL リンクをクリックした数
- ⑤月間アクセス数の合計
- ⑥月間 PV 閲覧ページ数
- ⑦PV 数/件：アクセス 1 件あたりの PV 数

図 項目別アクセス数

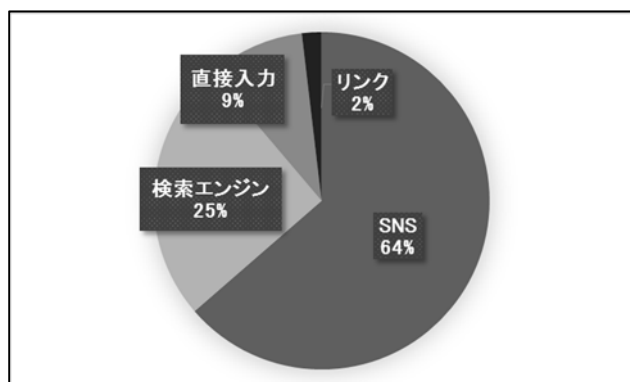
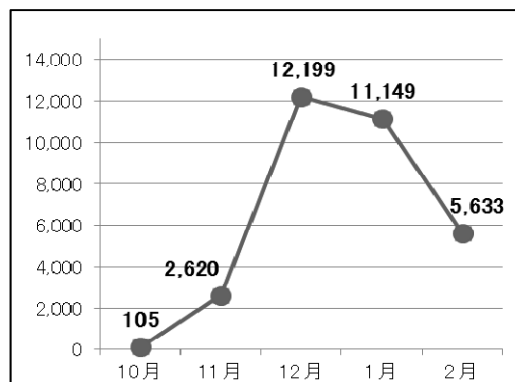


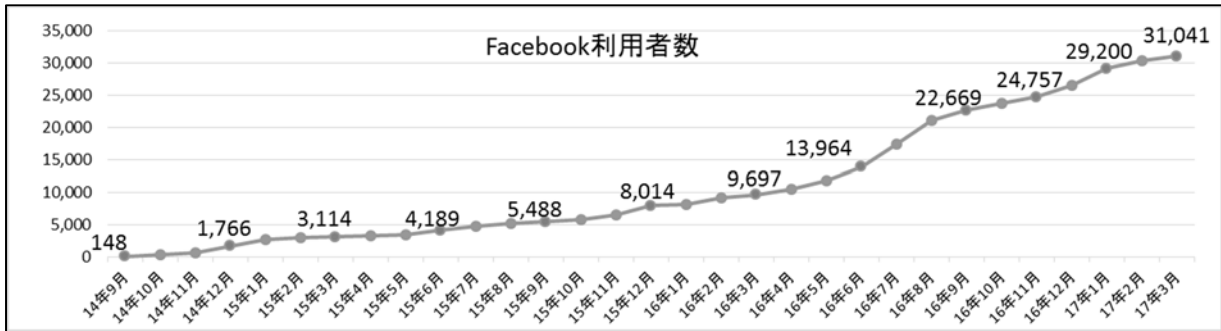
図 SNS からのアクセス数



b. Facebook「いいね！」件数

- Facebook ページへの「いいね！」数は、平成 28 年3月 20 日時点での 9,439 件から、平成 29 年 3月 15 日時点で 31,041 件となっており、約1年間で 21,602 件増加した。
- Facebook ページの外国人閲覧者は 3,150 人と利用者全体の約 10%を占め、その中でも台湾人が 60%以上を占めている。
- Facebook は1日2回更新し、また内容を写真から動画に変えたことで、閲覧者に沖縄の観光情報がより分かりやすく、伝わりやすい様に発信しており、内容に応じて広告を出すなどして閲覧者の増加を促した。
- 利用者(閲覧者)の数を男女別年齢別に見ると、男女別では女性が若干高いもののほぼ同数となっている。年齢別だと 35-44 歳が最も多く、次いで 45-54 歳となっており、主に子育て世代が利用していることがわかる。
- Facebook のリーチ(拡散数)については、4万人を超えることもしばしばあり、記事によっては 10 万人以上に拡散することができた。

図 Facebook ページへの「いいね！」の数



Facebook 3月 15 日時点「いいね！」31,041 件
集計期間 (2014 年 9 月 17 日~2017 年 3 月 15 日)

表 外国人利用者

外国人全体	台湾	北米	香港	東南アジア	欧州	南米	韓国	その他
3,150	1,962	386	258	176	81	88	79	120
	62%	12%	8%	6%	3%	3%	3%	4%

Facebook 2017 年 3 月 15 日時点

図 Facebook ページ利用者(男女別、年齢層別)

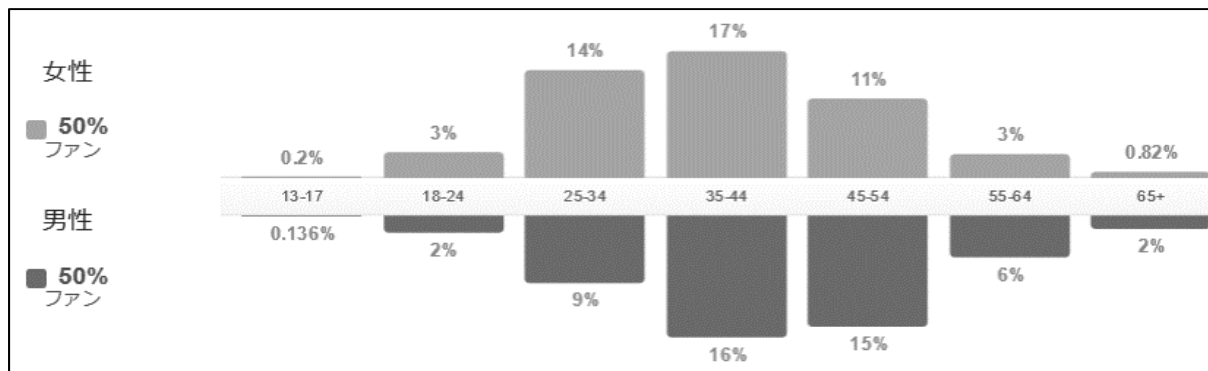
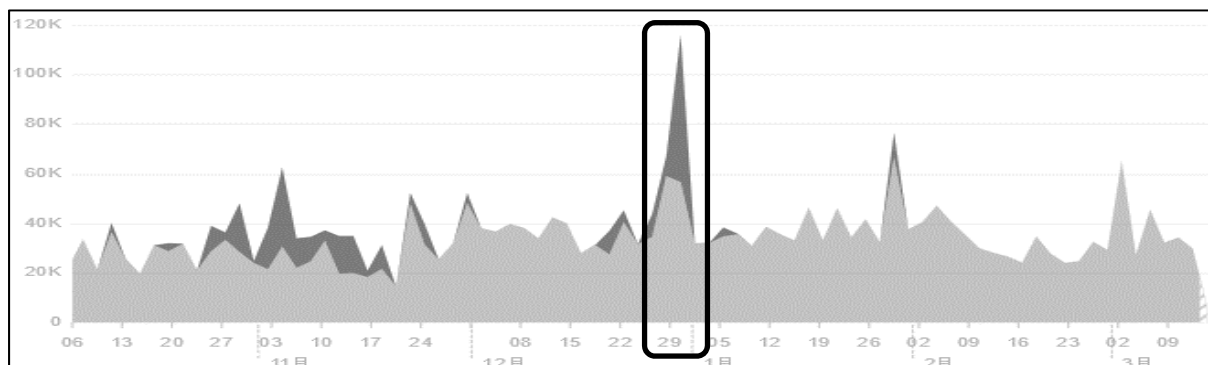


図 Facebook 投稿記事のリーチ数



Facebook 3月15日時点「リーチ数」
集計期間 (2016年10月6日~2017年3月15日)

資料 : Facebook ページ インサイトより

表 沖縄県 Facebook 利用者数別順位(2017年3月15日時点)

	名称	利用者	内容	取扱情報範囲
1	沖縄Clip	563,369	沖縄観光情報	全県
2	DFS	302,212	免税店	
3	沖縄likes	120,618	沖縄観光情報	全県
4	はいむるぶし	111,802	リゾートホテル	小浜島
5	たびらいおきなわ	78,651	沖縄観光情報	全県
6	A&W	64,548	ファーストフード	
7	沖縄(はいさい 沖縄)	64,285	沖縄観光情報	全県
8	カヌチャリゾート	63,844	リゾートホテル	名護
9	海洋博公園 美ら海水族館	56,159	施設	美ら海水族館
10	宮古島style	43,768	沖縄観光情報	宮古島
11	沖縄タイムス	34,871	新聞	全県
12	沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト	31,041	沖縄観光情報	北部やんばる
13	沖縄美ら島財団	29,827	施設など情報	全県
参考	琉球新報	27,520	新聞	全県
参考	OTV 沖縄放送	18,297	テレビ	全県

資料 : Website「Facebook ランキング」より作成

(3)成果と課題

①事業の成果

- 「沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト」の Facebook は利用者数が 3 万人を超え、県内外の方に北部やんばるの情報を提供できるようになった。
- Facebook 利用者が 3 万人を超え沖縄全県で 12 位まで上昇したことは、沖縄の有力な情報発信サイトとしての地位を確立しつつある。
- Facebook 沖縄全県利用者別順位の観光情報ジャンルでは 6 番目と、情報発信ページとして認知度が出てきた。
- Facebook の外国人利用者も増えており、約 3,150 人と全利用者の 1 割が外国人利用者となっている。

②今後の課題

- 今後の WEB サイトの自立に向け、営業及び運営方法や収益方法を検討する必要がある。特に事業採算シミュレーションについてを実施し、短期的に終わるものではなく中長期な事業継続の見通しが必要である。
- 今後も情報の集約、Facebook 等を活用した最新情報の提供、国内外の観光客への PR とコミュニケーションをさらに充実させる。
- WEB サイトに直接投稿した記事を Facebook に同時掲載しているが、効果的なリンクの方法を検証していく必要がある。
- Facebook 閲覧者のニーズを把握・分析し、やんばるへ訪れる方がどのような情報を求めているかを精査し、より情報力のある記事を投稿していく。
- 地域の事業者や発地側の事業者と連携を図り、やんばるの情報発信基地として、事業者と観光客双方にとって有益な情報を発信し、人をつなげる役目を検討する。
- SNS の情報発信は非常に有効であるが、Facebook などは年齢層に限られるため、他の SNS なども起用し、20 代前半等若者にも発信できるよう方法を検討する。
- SNS に投稿した内容が、どの程度効果が現れるのか、実際にお店に行き利用された等を検証する必要がある。

2-2. 情報拠点の充実強化

(1)目的

平成 24 年度事業において情報の集約・発信の必要性があげられ、平成 25 年度にはやんばるの観光情報を発信する「やんばる観光案内コーナー」を設置、平成 26 年度には利用者がさらに利用し易いように、観光案内コーナーの充実強化を図った。平成 27 年度は、情報発信をする側であるガイドが、より観光案内コーナーで情報提供をし易いように、体験学習やお勧め観光地のフライヤー作成などを行った。

「やんばる観光案内コーナー」では、観光客のニーズ把握に重点を置き、案内ガイドによる報告でその傾向を把握してきた。概ねの傾向は、美ら海水族館など主な目的地を訪問する前後の時間で回ることでできる観光地や飲食店の紹介、やんばる各地への距離や時間に関する情報、季節のイベントに関する情報ニーズが高いことが確認された。

これらの結果を受け、平成 28 年度は情報拠点「やんばる観光案内コーナー」のさらなる充実強化を図り、観光客のやんばる周遊を促した。

(2)実施概要

平成 25 年度に道の駅許田道路情報ターミナル内に設置した「やんばる観光案内コーナー」の充実を図るため、下記の取組みを実施した。

①やんばる観光案内コーナー充実強化の取組み

a. 案内ガイドの配置継続

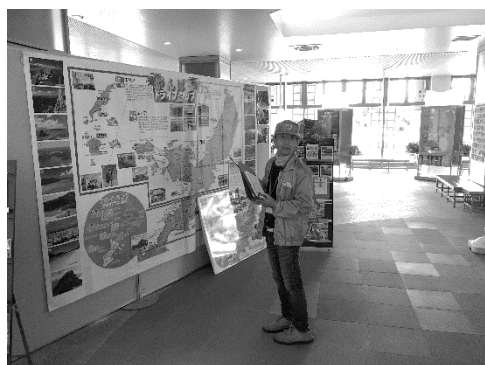
- 平成 27 年度に引き続き、やんばる観光案内コーナーにガイドを常駐させ、観光客のニーズを把握しながらやんばるでの周遊・滞在・消費を促した。
- 観光客の多い休日に対応するため、365 日営業を行った。



ガイドによる説明

b. ハイサイプラザでの出張「やんばる観光案内所」

- ・ 沖縄海洋博公園内にあるハイサイプラザにおいて、12月19日～1月15日の28日間、やんばる観光案内コーナーを設置し、海洋博公園を訪れた観光客に対して、やんばるの観光案内や次の行き先の提案などを行った。
- ・ 期間中の利用者は5,819人となり、そのうち36%が外国人を占めた。また、午前午後と分けると午後の利用の方が多かった。
- ・ 外国人利用客は韓国人が35%と多く、次いで台湾・香港が33%と多かった。中国本土などの団体旅行者の利用は少なかった。
- ・ 観光案内コーナーのニーズや、海洋博公園内での観光案内についてアンケート調査を行った。その結果、美ら海水族館の来訪回数については、はじめての方が32%、2回～3回が29%と来訪歴の少ない方で6割以上を占めている結果となった。
- ・ 美ら海水族館見学後の予定については、約半数の方が予定を決めていないことが分かった。



開催状況



開催状況

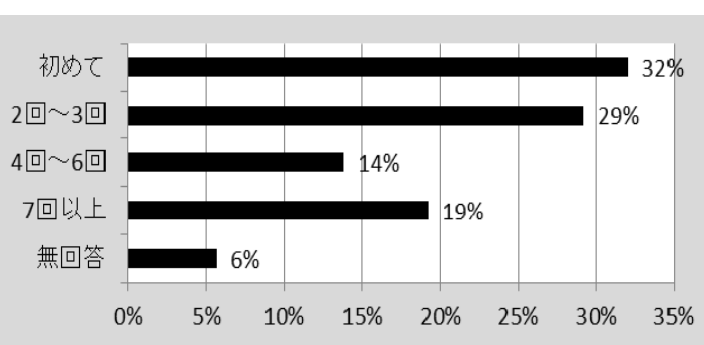
(ハイサイプラザ 観光客利用状況)

	全体			外国人						外国人の占める割合
	午前	午後	合計	台湾香港	中国本土	欧米	韓国	その他	合計	
合計	2,689	3,130	5,819	687	172	397	725	92	2,073	36%
割合	46%	54%		33%	8%	19%	35%	4%		

(ハイサイプラザ 観光案内コーナーアンケート結果(n=281))

【沖縄旅行の回数】

選択肢	選択数	割合
初めて	90	32%
2回～3回	82	29%
4回～6回	39	14%
7回以上	54	19%
無回答	16	6%
合計	281	100%



【美ら海水族館後の予定は決めていましたか？】

選択肢	選択数	割合
はい	136	48%
いいえ	140	50%
無回答	5	2%
合計	281	100%



c. 大型地図リニューアル

- 情報の更新を行うため、平成 25 年度に作成したやんばるの大型地図のリニューアルを行った。



大型地図



大型地図

d. インバウンド対応の充実と多言語サインの導入

- インバウンドへの対応のひとつとして、多言語パンフレット棚を追加した。
- 外国人観光客が約2割を占めるため正面入口の看板をリニューアルし、多言語表記(英語・中国語繁体字・中国語簡体字・韓国語)を追加した。
- 観光案内所を指し示すピクトグラムを、ISO 規格の「i マーク」で表記した。
- 英語・中国語繁体字ののぼり旗を作成した。
- インバウンド向けに日台友好のポスターを館内に貼り、台湾人の利用を図った。



正面入口看板



追加パンフレット棚



英語・中国語繁体字のぼり旗



日台友好のポスター

e. 「やんばるゴールデンツアー（フライヤー）」の充実

- 昨年度作成した「やんばるゴールデンツアー」シリーズとして、新たに「国頭編(国頭村・大宜味村・東村)」「奥やんばる東海岸編(名護市・東村・国頭村)」「南エリア編(金武町・宜野座村・恩納村)」「スイーツ特集～本部半島編～(名護市・本部町・今帰仁村)」「そば特集(名護市・本部町・大宜味村・恩納村)」を作成し、道の駅許田観光案内コーナーで配布をした。
- 新たにマップコードを全シリーズに記載し、日本人だけではなく外国人にも利用しやすいよう配慮した。

表 配布枚数(平成 28 年 3 月～29 年 3 月 15 日、道の駅許田観光案内コーナーのみ実施)

●本部半島編	●国頭編	●南エリア編	●奥やんばる東海岸編	★本部スイーツ編	★そば特集
6,800	2,400	2,100	2,600	3,700	2,500

周辺お勧めスポット

施設名	住所	電話番号	営業時間
1 道の駅許田	名護市名護1-1-1	0980-59-2446	2-11 9:00-18:00 12-15 9:00-11:00
2 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-5555	9:00-18:00
3 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-3838	4-10 9:00-18:00 11-15 9:00-15:00
4 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
5 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
6 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
7 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
8 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
9 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
10 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00

周辺お勧めスポット

施設名	住所	電話番号	営業時間
1 道の駅許田	名護市名護1-1-1	0980-59-2446	2-11 9:00-18:00 12-15 9:00-11:00
2 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-5555	9:00-18:00
3 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-3838	4-10 9:00-18:00 11-15 9:00-15:00
4 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
5 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
6 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
7 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
8 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
9 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
10 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00

周辺お勧めスポット

施設名	住所	電話番号	営業時間
1 道の駅許田	名護市名護1-1-1	0980-59-2446	2-11 9:00-18:00 12-15 9:00-11:00
2 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-5555	9:00-18:00
3 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-3838	4-10 9:00-18:00 11-15 9:00-15:00
4 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
5 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
6 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
7 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
8 道の駅大宜味	大宜味村大宜味1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
9 道の駅東村	東村東村1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00
10 道の駅今帰仁	今帰仁村今帰仁1-1-1	0980-43-8775	9:00-17:00



f. 観光ガイドの体験学習

- ・ 昨年度に引き続き、ガイドとともに今後観光客にお勧めしたい各地域のプログラムを体験した。
- ・ 観光地での受付の際、「道の駅許田観光案内コーナーガイドの紹介」ということを告げると、昨年度体験した「松田鍾乳洞」では「ツナギレンタル無料」、今年度体験した「ヤンバルンチャー」では「¥500 割引」のサービスが受けられるようになった。
- ・ 今後も観光地と観光案内所が連携することで、観光案内コーナー利用者数の増加と広域周遊が期待できる。

表 観光ガイド体験プログラム

日付	体験プログラム	場所
平成 28 年 10 月 13 日	ヤンバルンチャー（ハマー・ATV バギー体験）	名護市
平成 28 年 10 月 25 日	遊覧船 YOSHIKA	今帰仁村古宇利島



ヤンバルンチャー



遊覧船 YOSHIKA

g. フリーペーパー「たびカタログ」「朋友」への掲載

- ・ 観光フリーペーパー「たびカタログ」の 2017 年冬春号に観光案内コーナー紹介ページを掲載し、観光案内コーナーへの集客を図った。
- ・ 掲載期間は、平成 28 年 12 月～平成 29 年 3 月の 4ヶ月間。
- ・ 観光案内コーナーのみで応募できる「やんばる地域の特産品プレゼント」の応募券を付け、雑誌掲載による来場者数増加の効果を図った。
- ・ プレゼント応募用紙にアンケート表を添付し、観光案内コーナーのニーズ調査を行った。
- ・ 3 月 15 日時点の応募総数は 438 件であった。

- アンケート結果について、40代を中心に利用が高くなっている。
- 観光案内コーナーの満足度は、8割以上が満足していると回答を得た。
- 観光案内コーナー利用者の多くは、2度・3度目に来沖された方であった。
- ガイドからのオスমেで行ってみたい場所については、古宇利島が半数を占め、備瀬のフグギ並木や嵐山展望台が続いた。
- 利用者は県外からの観光客だけではなく、県民も利用していることが分かった。また東京、神奈川、千葉、埼玉の関東地方や愛知、大阪、北海道からの観光客も比較的多く利用している。
- その他、無料掲載でインバウンド(台湾・香港)向けフリーペーパー「朋友」にも、観光案内コーナーの紹介ページを掲載した。

図 「たびカタログ」観光案内コーナー紹介ページ



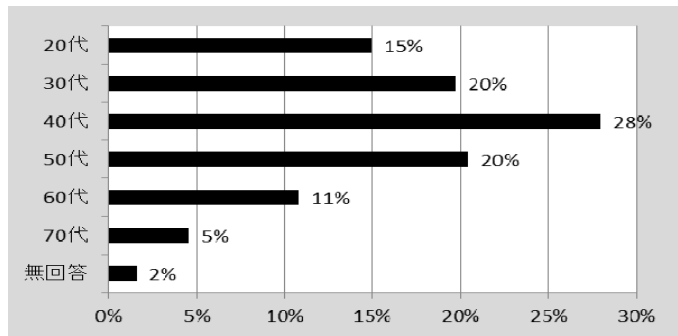
図 インバウンド向け「朋友」観光案内コーナー紹介ページ



アンケート結果抜粋(小数点以下は四捨五入)

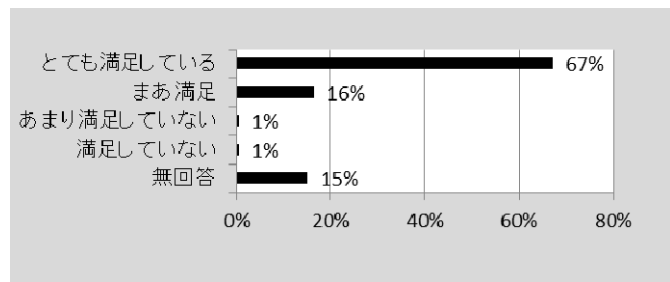
【利用者の年代について】

選択肢	選択数	割合
20代	65	15%
30代	86	20%
40代	123	28%
50代	89	20%
60代	47	11%
70代	20	5%
無回答	8	2%
合計	438	100%



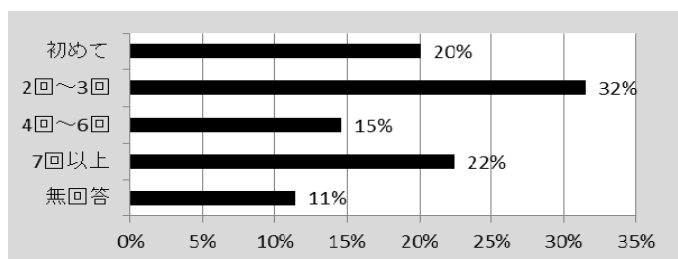
【観光案内コーナー利用満足度について】

選択肢	選択数	割合
とても満足している	294	67%
まあ満足	72	16%
あまり満足していない	3	1%
満足していない	3	1%
無回答	66	15%
合計	438	100%



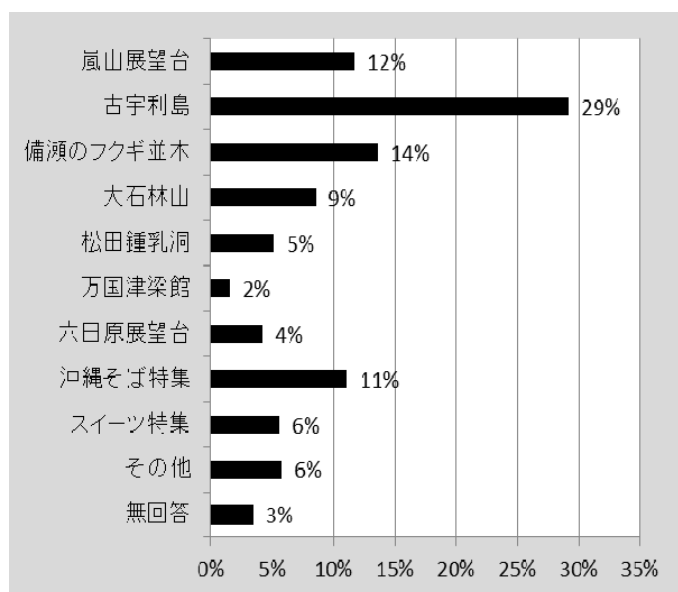
【来沖回数について】

選択肢	選択数	割合
初めて	88	20%
2回～3回	138	32%
4回～6回	64	15%
7回以上	98	22%
無回答	50	11%
合計	438	100%



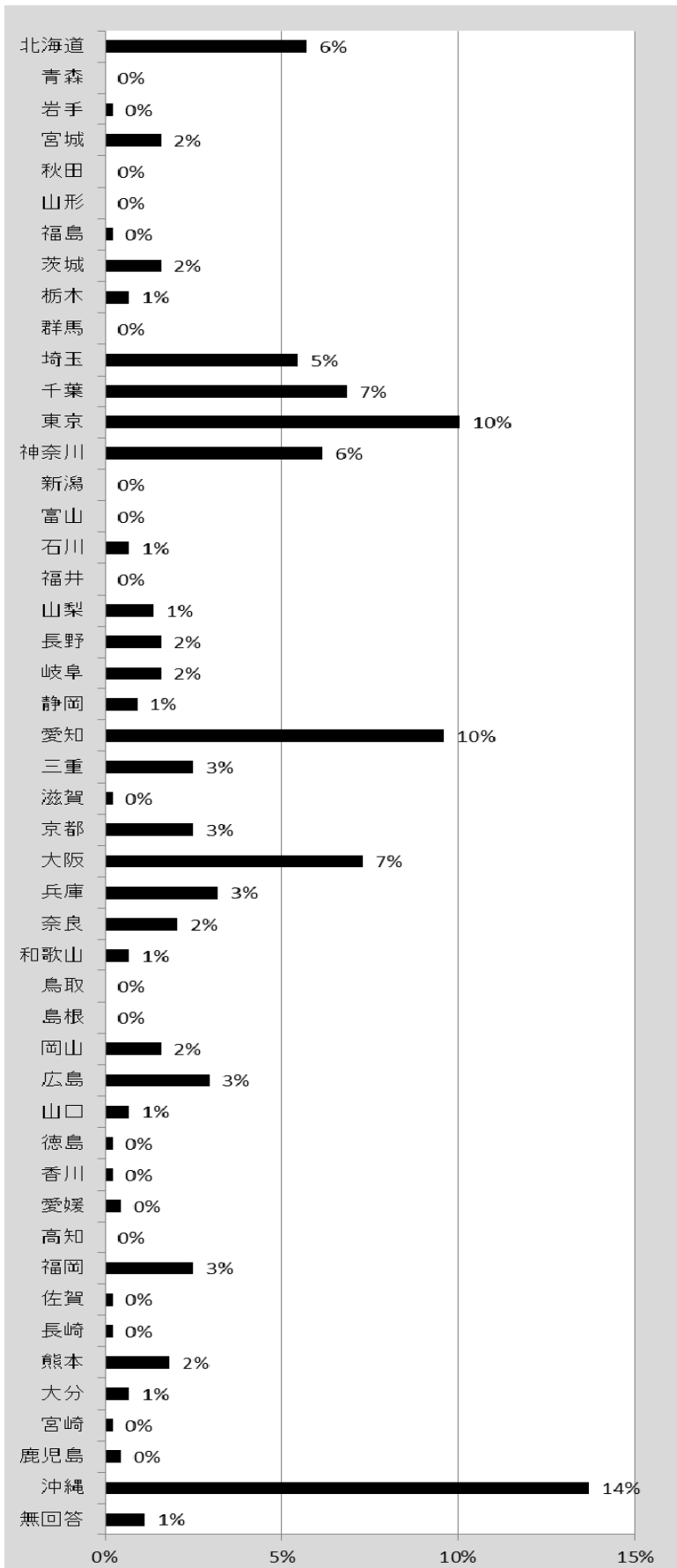
【ガイドさんにオススメされて行ってみたい観光スポット】

選択肢	選択数	割合
嵐山展望台	75	12%
古宇利島	187	29%
備瀬のフクギ並木	87	14%
大石林山	55	9%
松田鍾乳洞	33	5%
万国津梁館	10	2%
六田原展望台	27	4%
沖縄そば特集	71	11%
スイーツ特集	36	6%
その他	37	6%
無回答	22	3%
合計	640	100%



【観光案内コーナー 都道府県別利用者】

選択肢	選択数	割合
北海道	25	6%
青森	0	0%
岩手	1	0%
宮城	7	2%
秋田	0	0%
山形	0	0%
福島	1	0%
茨城	7	2%
栃木	3	1%
群馬	0	0%
埼玉	24	5%
千葉	30	7%
東京	44	10%
神奈川	27	6%
新潟	0	0%
富山	0	0%
石川	3	1%
福井	0	0%
山梨	6	1%
長野	7	2%
岐阜	7	2%
静岡	4	1%
愛知	42	10%
三重	11	3%
滋賀	1	0%
京都	11	3%
大阪	32	7%
兵庫	14	3%
奈良	9	2%
和歌山	3	1%
鳥取	0	0%
島根	0	0%
岡山	7	2%
広島	13	3%
山口	3	1%
徳島	1	0%
香川	1	0%
愛媛	2	0%
高知	0	0%
福岡	11	3%
佐賀	1	0%
長崎	1	0%
熊本	8	2%
大分	3	1%
宮崎	1	0%
鹿児島	2	0%
沖縄	60	14%
無回答	5	1%
合計	438	100%



②利用実績

- ・ 道の駅許田情報ターミナル「やんばる観光案内コーナー」と、海洋博公園内「ハイサイプラザ」において、案内ガイドにより来場者数をカウントした。
- ・ ガイドは、観光情報の閲覧、パンフレット取得等何らかの観光情報を得た人数をカウントしている。（関係者の休憩等は除く）
- ・ 平成 28 年度は、7 月 1 日～平成 29 年3月 15 日までの期間で 90,167 人の利用があり、1日当たりの平均利用者数は 351 人／日となった。
- ・ 平成 27 年度との比較では、平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年3月 15 日までの期間で 86, 250 人の利用があり、1日当たりの平均利用者数は 336 人／日となった。今年度は、平成 27 年度よりも利用者が増加した。
- ・ 平成 28 年度の時間帯別利用者数を見ると、前半(09:30～13:30)は平均 229 人／日、後半(13:30～17:30)は平均 122 人／日で、前半の利用者が 65%を占めている。

表 平成 28 年度月別来場者数(人)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
観光案内コーナー	11,939	12,572	9,928	9,964	8,378	11,508	13,248	8,129	4,501	90,167
日平均利用者数	385	406	331	321	279	371	427	301	300	351

※ 期間:平成 28 年7月1日～平成 29 年3月 15 日、※ 合計欄の日平均利用者数は稼働日 257 日で計算。

表 平成 27 年度との比較

	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
7 月 1 日～3 月 15 日来場者数 (人)	86, 250 人	90, 167 人	前年比 5%増
1 日平均来場者数 (人／日)	336 人／日	351 人／日	同期間の平均人数/日
1 日最大来場者数 (人)	564 人	911 人	

図 来場者実績(道の駅許田道路情報ターミナル「やんばる観光案内コーナー」)

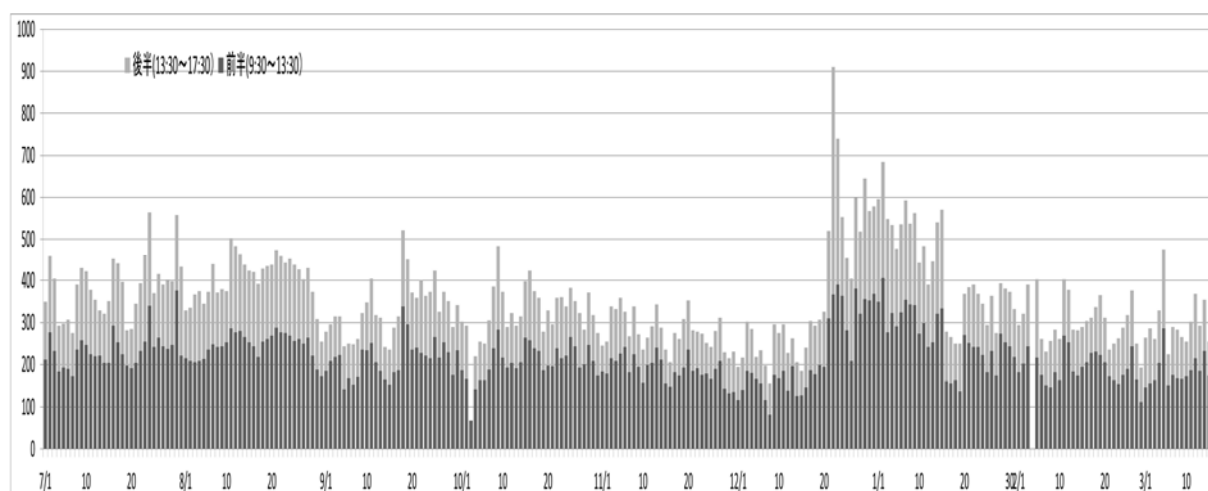


図 来場者実績月別比較

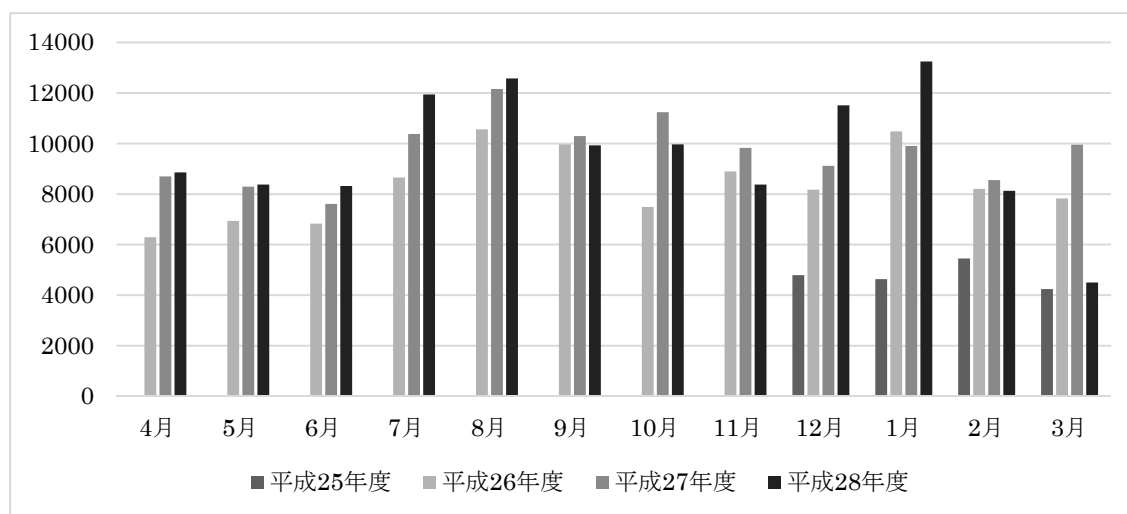


図 来場者時間帯比率

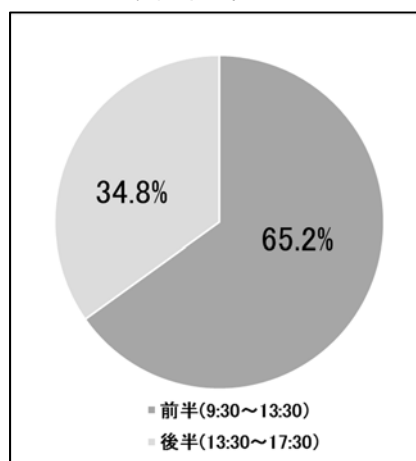
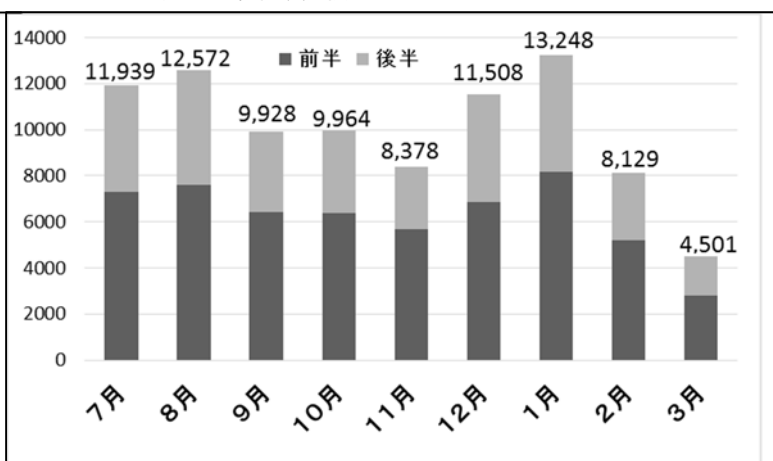


図 月別来場者数実績(H28.7~H29.3)



③観光客の問い合わせ内容

- 「やんばる観光案内コーナー」では、ガイドにより観光客からの問い合わせを日報に記録している。最も多い問い合わせは「観光関連」で全体の 68%となっており、中でも特に「観光地／目的地までのルート案内」が全体の 37%を占めている。次に多いのは、「観光地／観光施設／観光スポット等」で 18%ほどである。
- 「飲食関連」は、全体の 21%となっている。内訳は「沖縄そば」や「カフェ」ではなく、「その他」が大多数となっている。その理由はビールやステーキ、タコライスなど沖縄ならではのグルメの認知度が広がり、多様性が生まれてきているからだと考えられる。
- 「お土産関連」は全体の 3%だが、「農産物」や「果物」に関するものが全体の 2%を占めていた。

表 観光客からのお問い合わせ分類(平成 29 年2月 15 日時点)

	総数	観光関連	飲食関連	お土産関連	その他
件数	1,238 件	841 件	251 件	45 件	101 件

図 観光客からの問い合わせ分類

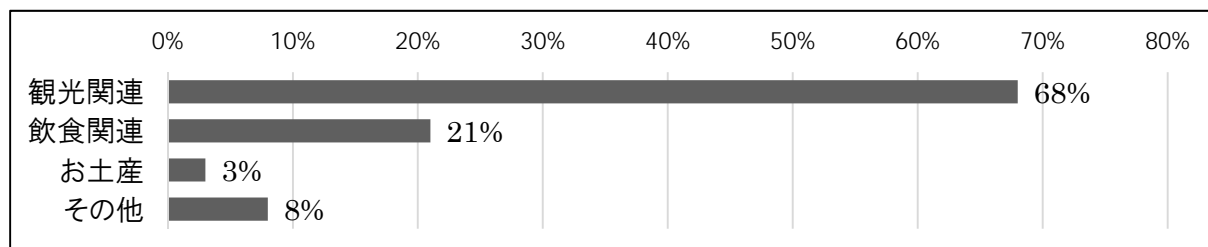


表 問い合わせ内容

案内の内容		問合せ数	割合
観光関連	観光スポット等について	224	18%
	目的地までのルート案内	461	37%
	ビーチの案内	22	2%
	体験プログラム等の紹介	47	4%
	まつり・イベント等の紹介	68	5%
	景勝地の案内	19	2%
交通	バス等に関する案内	2	0%
飲食関連	そば屋に関する案内	48	4%
	カフェに関する案内	31	3%
	その他飲食に関する案内	172	14%
お土産	農産物果物(マンゴー、パイナップルなど)	26	2%
	沖縄お菓子について	6	0%
	沖縄加工品(ガラス、やちむん等)	13	1%
その他	ホテル宿泊についての案内	22	2%
	沖縄の風土、文化に関する紹介	77	6%
合計		1,238	100%

④外国人訪問数

- ・ 観光案内コーナーに訪問した外国人をカウントした。(n=43 日間 期間:10月6日~3月15日)
- ・ 日本人含め全体の利用者 12,498 人のうち、外国人は 2,617 人と全体の約 21%を占めた。
- ・ 台湾・香港・中国が約 60%を占め、35%が韓国、欧米は5%であった。

図表 外国人利用者数

	日本人含めた全体数	外国人(全体の内数)				外国人の占める割合
		台湾・香港・中国	欧米	韓国	合計	
合計	12,498	1,552	138	927	2,617	21%
割合		59%	5%	35%		

10月6日~3月15日までの内、43日間外国人利用者をカウントした。

台湾・香港・中国の内、ほとんどが台湾・香港であり、中国人は団体旅行のため立ち寄らない傾向がみられる。

(3)成果と課題

①事業の成果

- 観光案内コーナーの利用者数は、前年と比べ5%増加した。
- ガイドが体験学習をすることによって、知られていない観光地にも誘客が可能となった。
- 観光客のニーズやガイドのオススメコースを組み合わせたフライヤーを作成し、着地してからの周遊を促せることが確認できた。
- ハイサイブラザアンケート実施の結果、美ら海水族館のあと予定を決めていない人が半数であることが分かり、美ら海水族館近くで案内をすれば更にやんばるの周遊につながると考えられる。

②事業の課題

- 観光案内コーナーの利用者を増やすためには、さらなる情報の充実に加え、広報、周知を図っていく必要がある。
- やんばるの交流人口を増やす、滞在時間を延ばすためには、一極集中している観光地から観光客を分散させることを引き続き検討する必要があり、観光案内コーナー等設置することが有効と考えられる。
- 観光案内コーナーから消費につなげるためには、観光地だけを勧めるのではなく、オススメのお土産、農産物など、聞きに来る観光客に対し消費行動に結び付けられるような仕組の検討が必要である。

第3章 観光プロモーション

3-1. 観光フェア出展

(1)目的

やんばるの知名度向上と12市町村が連携したPRを実証することを主な目的として、プロモーション活動を行ってきた。平成25年度は観光キャラバンを実施し、また沖縄県外の観光業界関係者やMICEを予定する企業などを対象とした「沖縄リゾート EXPO in TOKYO」に参加してやんばる観光を紹介するブースに出展した。平成26年度は昨年度同様「沖縄リゾート EXPO in TOKYO」への参加のほか、那覇空港ウェルカムホールで「やんばる観光フェア」を開催した。平成27年度は、美ら島財団と協力し「Beautiful NIPPON 全国観光PRコーナー」に参加したほか、各エリアで取組んだモニターツアーの商品造成についてアドバイスをもらうため、各エリア代表とともに旅行社訪問を行った。

平成28年度は、さらにやんばる地域をPRするために、プロモーション活動の強化を図った。

(2)実施概要

実際に沖縄旅行をしている方や検討している方へ、やんばる地域への訪問やPRを行うため、取組みを実施した。

①やんばるの産業まつり出展

a. 目的

- やんばるの産業まつりを訪れた観光客や県民に、沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトをPRするため実施した。

b. 実施概要

- 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトをPRするため、チラシ配布を行った。

表 やんばるの産業まつり概要

名称	やんばるの産業まつり HOP! STEP! JUMP! やんばるの地域力 大・集・合!! ~地産・地消・他消~
主催	やんばるの産業まつり実行委員会
場所	名護市 21世紀の森体育館前駐車場
日時	平成28年10月8日(土)・9日(日) 10:00~20:00
内容	沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトのPR
対象者	やんばるの産業まつり来場者



配布チラシ



出展状況 ブース内容



出展状況 観光案内風景

②世界のウチナーンチュ大会

a. 目的

- 世界のウチナーンチュ大会に参加するために各国から訪れた日系人や、その他参加者にやんばる 12 市町村の PR と観光案内を主な目的として参加した。

b. 実施概要

- 世界のウチナーンチュ大会会場で開催された「うまんちゅ交流祭」において観光案内コーナーを設置し、ガイドとともにやんばるの観光案内を行った。
- 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトの PR を行った。

表 世界のウチナーンチュ大会の概要

名称	第 6 回世界のウチナーンチュ大会 うまんちゅ交流祭
主催	第 6 回世界のウチナーンチュ大会実行委員会
場所	沖縄セルラーパーク那覇
日時	平成 28 年 10 月 27 日（木） ～平成 28 年 10 月 30 日（日） 計 4 日間
内容	やんばる地域の観光案内
対象者	世界のウチナーンチュ大会 うまんちゅ交流祭来場者



出展状況 ブース内容



出展状況 観光案内風景

表 観光案内コーナー国別来場者数(人)

	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	合計
アメリカ・カナダ	63	13	15	42	133
南米	34	3	10	40	87
アジア	1	2	2	6	11
ヨーロッパ	4	2	0	0	6
日本	116	89	174	189	568
合計	218	109	201	277	805

③台湾旅行社との商談会

a. 目的

- 台湾現地にて台湾の旅行社と直接交渉して集客に繋げることを主な目的とした。

b. 実施概要

- ITF2016 の開催前日に行われた商談会に参加し、台湾の旅行社に直接やんばる地域の PR と旅行商品の説明等を行った。

表 台湾プロモーションの概要

名称	ITF2016 日本観光振興協会主催商談会
主催	日本観光振興協会
場所	シェラトン台北（台北喜來登大飯店）地下 2F 宴会場
日時	平成 28 年 11 月 3 日（木）
内容	台湾旅行社（4 社 8 名）と面談し、PR を行った
対象者	台湾旅行社



商談会の様子



商談会の様子

④ITF 台北國際旅展の出展

a. 目的

- 台湾の旅行社や一般人を含め、多くの来訪者にやんばるの PR を行うことを主な目的とした。

b. 実施概要

- OCVB が構える沖縄ブースに参加し、パンフレット配布やアンケート調査などを行い、やんばる地域を PR した。
- 12 市町村から 1 名ずつ代表者が参加し、やんばるを PR する機会の創出を目的に、OCVB と共同で取組んだ。

表 台湾プロモーションの概要

名称	2016 台北國際旅展（通称：ITF2016）
主催	財団法人台湾観光協会
場所	台北世界貿易センター1号館（1階/2階）・3号館
日時	平成28年11月4日（金） ～平成28年11月7日（月） 計4日間
内容	ITF2016 来場者の方に直接やんばる地域をPRした
対象者	台湾旅行社及び一般来場者

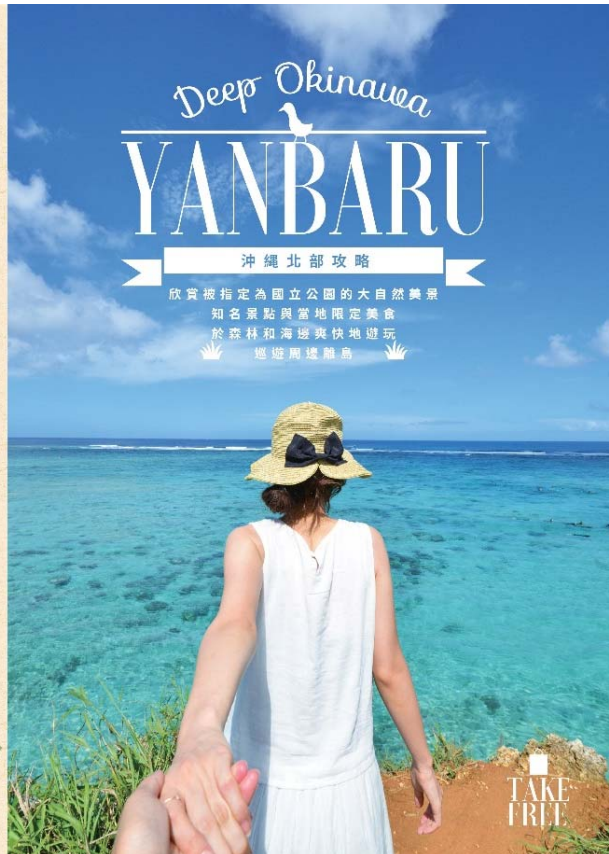


出展の様子



アンケート調査の様子

図 ITF 配布パンフレット(中国語繁体字で制作)



c. アンケート結果

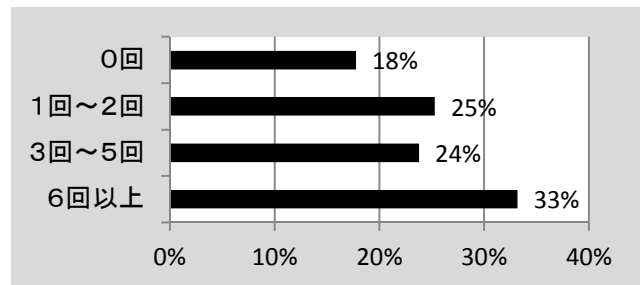
- 6回以上来日経験がある方が33%と一番多かったが、来沖回数は0回が56%と半数以上占めた。
- やんばるの知名度は、「知っている」が17%に対して、美ら海水族館を知っている人は43%だった。
- 沖縄で興味が高いのは、「綺麗な山や海の景色」が36%、「美味しい料理」が30%となった。

表 アンケートの概要(小数点以下は四捨五入)

調査目的	やんばる地域の知名度についての調査
調査方法	設問方式(選択・自由記述)
調査対象	ITF2016 沖縄ブース来訪者
回収数	597部

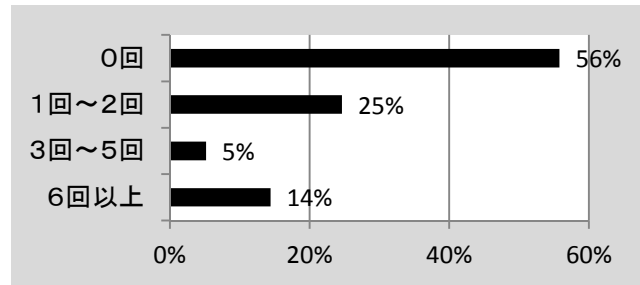
【今まで日本に行ったことがありますか?】

選択肢	回答数	割合
0回	106	18%
1回~2回	151	25%
3回~5回	142	24%
6回以上	198	33%
合計	597	100%



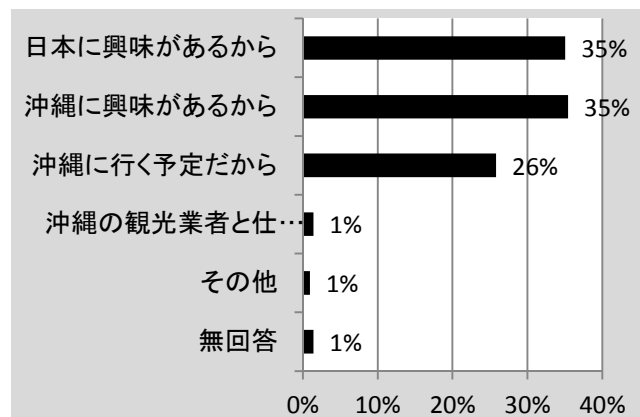
【日本の沖縄に行ったことがありますか?】

選択肢	選択数	割合
0回	333	56%
1回~2回	147	25%
3回~5回	31	5%
6回以上	86	14%
合計	597	100%



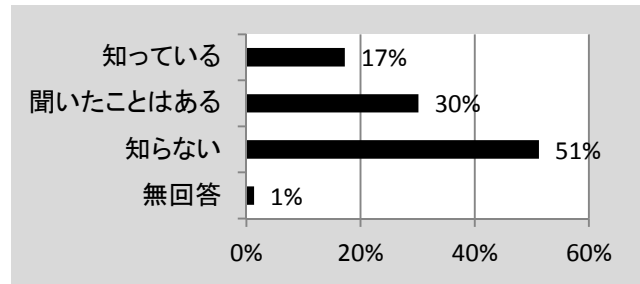
【このブースに立ち寄った理由はなんですか?】(複数回答)

選択肢	選択数	割合
日本に興味があるから	299	35%
沖縄に興味があるから	302	35%
沖縄に行く予定だから	220	26%
沖縄の観光業者と仕事 連絡が取り合い	12	1%
その他	8	1%
無回答	12	1%
合計	853	100%



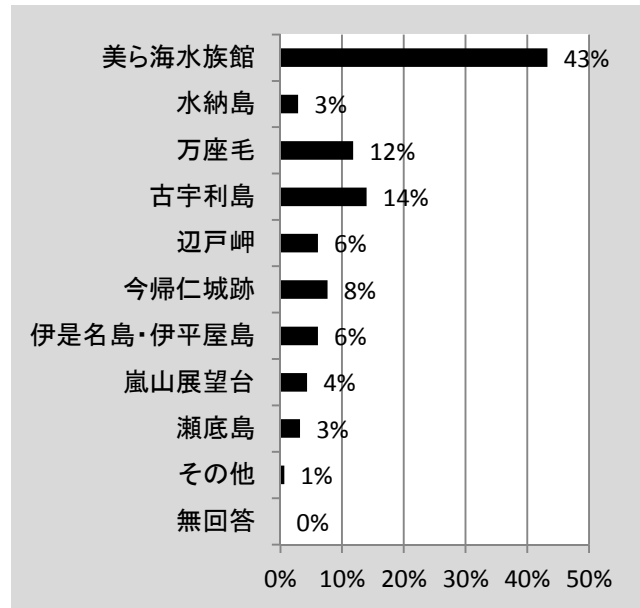
【沖縄北部”やんばる”という地名をご存知ですか？】

選択肢	選択数	割合
知っている	103	17%
聞いたことはある	180	30%
知らない	306	51%
無回答	8	1%
合計	597	100%



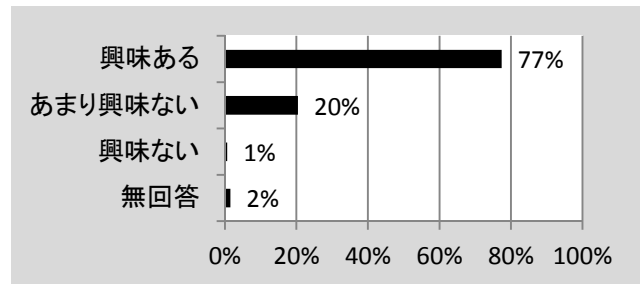
【沖縄北部”やんばる”で知っている観光地はありますか？】

選択肢	選択数	割合
美ら海水族館	418	43%
水納島	28	3%
万座毛	114	12%
古宇利島	135	14%
辺戸岬	59	6%
今帰仁城跡	74	8%
伊是名島・伊平屋島	59	6%
嵐山展望台	42	4%
瀬底島	31	3%
その他	6	1%
無回答	0	0%
合計	966	100%



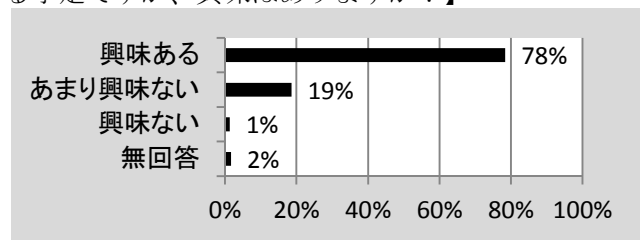
【沖縄北部”やんばる”は世界自然遺産を目指しています。興味はありますか？】

選択肢	選択数	割合
興味ある	462	77%
あまり興味ない	122	20%
興味ない	4	1%
無回答	9	2%
合計	597	100%



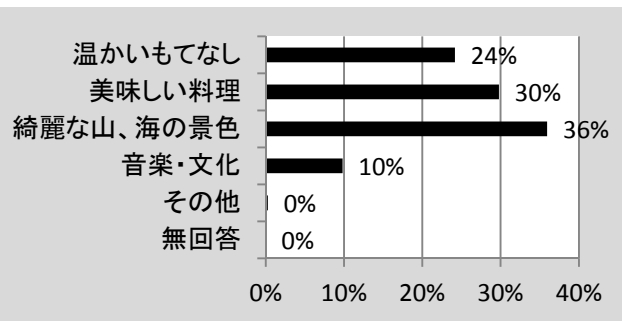
【沖縄北部”やんばる”でホームステイを実施する予定ですが、興味はありますか？】

選択肢	選択数	割合
興味ある	468	78%
あまり興味ない	111	19%
興味ない	8	1%
無回答	10	2%
合計	597	100%



【沖縄のどんなところに興味がありますか？】（複数回答）

選択肢	選択数	割合
温かいもてなし	271	24%
美味しい料理	334	30%
綺麗な山、海の景色	403	36%
音楽・文化	110	10%
その他	3	0%
無回答	0	0%
合計	1121	100%



⑤ふるさと祭り東京 2017

a. 目的

- 東京近郊に住む来場者の方に対し、沖縄北部観光情報コミュニケーションのPRとやんばる地域の魅力を発信し、観光客を誘客する目的のため出展した。
- 各エリアから代表者が参加し、沖縄市観光協会やOCVB、国立劇場沖縄と共同で取組んだ。

b. 実施概要

- ふるさと祭り東京 2017 は、東京ドームで行われた。
- やんばる 12 市町村の観光パンフレットを配布し、やんばる地域を紹介した。
- 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトをPRするために、フライヤーを配布した。
- ミニステージで「やんばるクイズ大会」を行い、やんばるに関連する質問を出題した正解者にはやんばるトートバッグをプレゼントし、やんばるの認知度向上を図った。
- 各エリア代表が参加してやんばるの知名度に関するアンケート調査を行い、回答者にはちんすこうを配布して、沖縄・やんばるのPRを図った。

表 東京プロモーションの概要

名称	ふるさと祭り東京 2017
主催	ふるさと祭り東京実行委員会（フジテレビ、文化放送、東京ドーム）
場所	東京ドーム
一般客入場料	当日券：1,600円（前売券：1,400円）
日時	平成29年1月7日（土） ～平成29年1月15日（日） 計9日間
内容	沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトのPR やんばる地域のPR及びアンケート調査
来場者	9日間合計：40万人以上



出展の様子



クイズ大会の様子

図 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトPR用フライヤー



c. アンケート結果

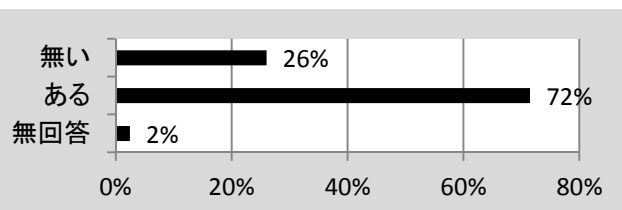
- ・ 来場者の来沖経験は72%と高いものの、来沖回数が初めて(1回)と2回という方で36%を占め、また7回以上のヘビーリピーターが11%もいた。
- ・ やんばる地域を「知っている」という人は70%と高いが、実際に行ったことがあると認識している人は17%とそれほど高くはない。
- ・ 旅行に必要な情報としては、「グルメ情報」「絶景ポイント情報」の要望が高い。

表 来訪者アンケートの概要(小数点以下は四捨五入)

調査目的	やんばる地域の認知度について調査するため
調査方法	設問方式(選択・自由記述)
調査対象	OCVB ブース来訪者
回収数	772件

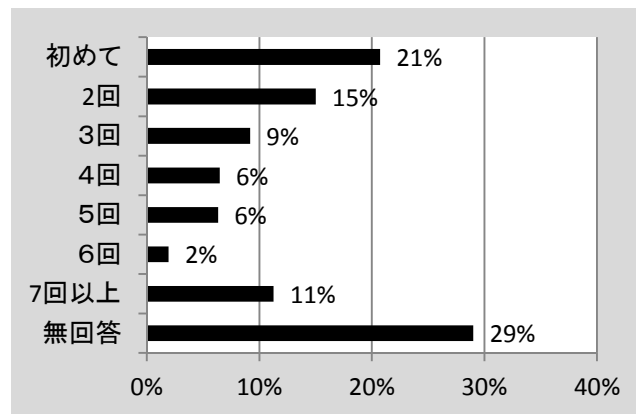
【沖縄旅行に行ったことがありますか。】

選択肢	回答数	割合
無い	201	26%
ある	552	72%
無回答	19	2%
合計	772	100%



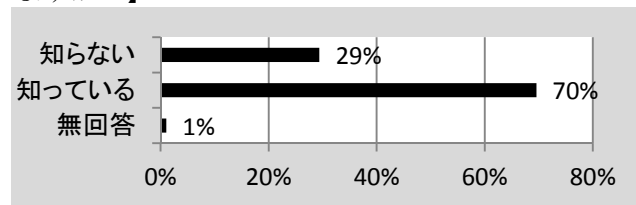
【沖縄に何回行ったことがありますか?】

選択肢	選択数	割合
初めて	160	21%
2回	116	15%
3回	71	9%
4回	50	6%
5回	49	6%
6回	15	2%
7回以上	87	11%
無回答	224	29%
合計	772	100%



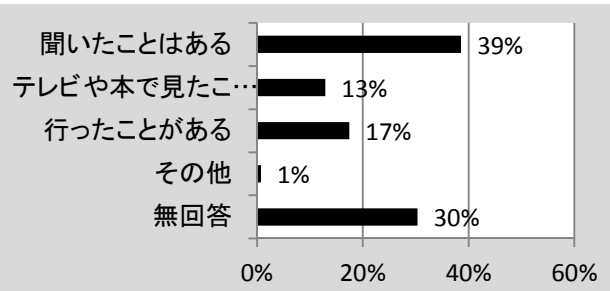
【沖縄北部『やんばる』という地域を知っていますか?】

選択肢	選択数	割合
知らない	227	29%
知っている	537	70%
無回答	8	1%
合計	772	100%



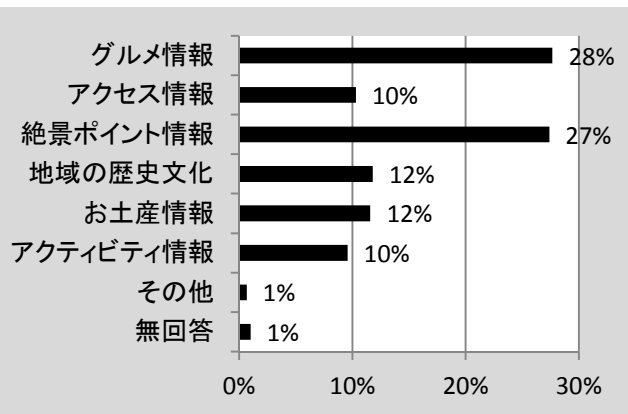
【『やんばる』という地域を何で知りましたか？】

選択肢	選択数	割合
聞いたことはある	314	39%
テレビや本で見たことはある	105	13%
行ったことがある	142	17%
その他	6	1%
無回答	247	30%
合計	814	100%



【あなたが観光旅行に行く場合に、現地の情報として一番必要な情報はどんなことですか？（3つまでお答えください）】

選択肢	選択数	割合
グルメ情報	497	28%
アクセス情報	185	10%
絶景ポイント情報	492	27%
地域の歴史文化	212	12%
お土産情報	208	12%
アクティビティ情報	172	10%
その他	12	1%
無回答	18	1%
合計	1796	100%



⑥インバウンド向け PR ツール制作

a. 目的

- 急増するインバウンド向けに対し、国内外でやんばる観光情報を伝えるため、4言語（英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語）併記 8 ページカラー、6 万部制作し国内外へパンフレットを配布した。

d. 実施概要

- 国内の配布先は北部 12 市町村役場、道の駅許田観光案内コーナーなどへ配布し、国外へは OCVB 台湾事務所・韓国事務所、沖縄県産業振興公社シンガポール事務所へ送付した。

表パンフレット配布先

送付先	部数
名護市役所	2,400
国頭村役場	2,400
大宜味村役場	2,400
東村役場	2,400
今帰仁村役場	2,400
本部町役場	2,400
恩納村役場	2,400
金武町役場	2,400
宜野座村役場	2,400
伊江村役場	2,400
伊平屋村役場	2,400
伊是名村役場	2,400
道の駅許田観光案内コーナー	400
北部広域市町村圏事務組合	16,400
国内向け	45,600
OCVB台湾事務所	3,200
OCVB韓国事務所	3,200
シンガポール事務所	8,000
海外向け	14,400
合計	60,000

図 インバウンド向けパンフレット

Get Your Hands on the Delicious Specialties of Yanbaru!

- 名護村産 Kumigami Village**: 名護市産の山菜類... (Local mountain vegetables)
- 喜望峯 Higashi Village**: 喜望峯産の山菜類... (Local mountain vegetables)
- オキナウィ Okinawa Village**: 沖縄産の山菜類... (Local mountain vegetables)
- 那覇市 Naha City**: 那覇市産の山菜類... (Local mountain vegetables)
- 金武町 Kin Town**: 金武町産の山菜類... (Local mountain vegetables)
- 宜野座村 Inza Village**: 宜野座村産の山菜類... (Local mountain vegetables)
- 伊是名城 Izena Village**: 伊是名城産の山菜類... (Local mountain vegetables)

Deep Okinawa YANBARU

沖縄北部支路 / 沖縄北部支路
Okinawa Northern Region Guide

國家公園の大自然と名産品を堪能
於森林と海邊の絶景地帯 遊覧遊覧

尽享国家公园的自然美景与当地美食
尽享国家公园的自然美景与当地美食
尽享国家公园的自然美景与当地美食

국립공원으로 지정된 대자연과 함께 유명 관광지까지 한 거리의 숲과 바다에서 마음껏 즐기세요. 추천 상품도 소개합니다.

Relish the Great Outdoors in a Nationally Designated Park
Enjoy Famous Scenic Sites and the Local Cuisine
Have Fun in the Forest and the Sea
Take a Side Trip to a Remote Island

FREE

沖縄県観光局 観光課 企画・広報課
〒900-0001 沖縄県那覇市那覇1-1-1
TEL: 098-864-2111 FAX: 098-864-2112

(3)成果と課題

①事業の成果

- 昨年度までは国内のプロモーション出展のみだったが、今年度初めて国外(台湾)でのプロモーション活動を行い、世界のウチナーンチュ大会出展も含め、全体として多くの人・外国籍の方にやんばるを PR することができた。
- 台湾の旅行社に、直接地域の旅行商品を紹介することができた。
- 台湾でのアンケート調査の結果から、やんばるの世界自然遺産登録への取組みや、民泊に対する興味が高いことが分かった。
- やんばる 12 市町村、各エリア代表者が協力してやんばる地域を PR することができた。
- その他、沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトのオフ会開催を Facebook で宣伝したところ、13 名の方に参加していただき、県外に住んでいる沖縄好きの方と交流・意見交換をすることができた。
- 4 言語併記のインバウンド向け観光パンフレットを制作し、インバウンド向けツールが出来た。

②事業の課題

- 台湾でのやんばるの知名度は、「知っている・聞いたことがある」を含めて 47%、東京でのやんばるの知名度は 70%だった。国内での知名度は徐々に上がりつつあるので、今後は国外での知名度も向上させる必要がある。
- ふるさと祭り東京では、「やんばる」という言葉について「ヤンバルクイナなら聞いたことがある」という意見が多くあったが、「やんばる」自体が何を指すのかわかる人がほとんどいなかった印象を受けたので、「やんばる」という言葉の意味とどの場所を指すのか、広めていく必要がある。
- 台湾では、美ら海水族館以外の観光地がほとんど知られていないので、その PR 方法を検討する必要がある。
- 今後は、国内だけでなく海外へ向けた PR 方法、また受け入れ時の対応について、各市町村・各エリアで検討していく必要がある。
- インバウンド向けツールの効果的な展開方法が検討課題である。

3-2. 農商工連携フェア「やんばるほおぼるカーニバル」の開催

(1)目的

- ・ 沖縄県産食材・県産品の魅力を発信・販売・PR をするイベント「島いろマルシェ」のノウハウを活用し、「やんばるほおぼるカーニバル」としてやんばる地域の特産品を販売して、国内外の観光客に「やんばる」を発信した。
- ・ 海洋博公園内美ら海プラザを訪れた方に、やんばる地域の PR や次の目的地の紹介を行った。

(2)実施概要

- ・ やんばる地域の加工品や食材を用いた商品の魅力を伝えるため、試飲試食等の PR や商品のテスト販売、通信販売の紹介等を行った。
- ・ やんばるほおぼるカーニバル来訪者に対し、やんばる地域の PR や次の行き先の提案をするために観光案内コーナーを設置した。
- ・ 地域の PR や会場に足を止めてもらうために、大宜味村「しーちゃん」や本部町「ぶともー」のゆるキャラを使用した。

表 参加店舗一覧

店舗名	所在地
株式会社いじま家族	伊江村
わんさか大浦パーク	名護市
伊豆味みかんの里	本部町
羽地の駅	名護市
「道の駅」許田やんばる物産センター	名護市
マンゴー・スイーツ専門店 おきぼたショップ	名護市
農業生産法人(株)あいあいファーム	今帰仁村
やんばる観光案内コーナー	名護市

表 やんばるほおぼるカーニバルの概要

名称	やんばるほおぼるカーニバル
主催	北部広域市町村圏事務組合
場所	海洋博公園美ら海水族館（総合休憩所 美ら海プラザ）
日時	平成 28 年 12 月 17 日（土） ～平成 28 年 12 月 18 日（日） 計 2 日間
内容	やんばる地域の加工品や食材を用いた商品の試食・販売
対象者	美ら海プラザ来訪者
来場者数	1 日目：2,360 人 2 日目：2,143 人 2 日間合計：4,503 人
売上総額	956,525 円／2 日間（全 7 店舗） ※ 1 店舗あたり 136,646 円／2 日間



イベント開催の様子



イベント開催の様子



イベント開催の様子



イベント開催の様子

図 雑誌「おきなわ市場」への掲載

やんばるをもっと身近にもっと住みやすく。

【北部12市町村】
 名護市 / 国頭村 / 大宜味村 / 東村 /
 今帰仁村 / 本部町 / 恩納村 / 宜野座村 /
 金武町 / 伊江村 / 伊平屋村 / 伊是名村

【開催日時】12月17日(土)～18日(日) 10:00～17:00
 【場所】海浜緑の聖典ら海浜緑地(総合体育館前)【主催】北部広域市町村圏事務組合

■ 年内イベント情報 ■
 開催28年 やんばる地域の食と観光の魅力を伝えるイベント
やんばる ほおばる カーニバル in 海浜緑地(総合体育館前)
 (総合体育館前) 海浜緑地(総合体育館前)【主催】北部広域市町村圏事務組合

1 北部広域市町村圏事務組合について
 名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村、伊是名村の12市町村からなる組合組織です。広域市町村圏の、交流、文化、スポーツ、観光、物産など広域的な振興事業を推進しています。

沖縄北部観光情報コミュニケーション
 沖縄 北部観光情報 検索 ホームページサイト
<http://yanbaru-tour.net/>
 FACBOOKサイト
<https://www.facebook.com/yanbaru/>

図 イベントポスター

北部のごちそう

Yanbaru yummy market

やんばる
ほおばる
カニバル

12.17^土 - 18^日
OPEN 10:00 - CLOSE 17:00

やんばる
イチ押し
グルメ

やんばる
物産!!

▲▲ 沖縄・やんばるとは ▲▲

沖縄の北部地域は古くから「山原(やんばる)」と呼ばれ、生活・習慣・文化などに共通性の多い地域です。亜熱帯の気候風土に生まれ、美しい海浜、亜熱帯の森林が広がります。ヤンバルクイナ、ノグチゲラなど世界的にも貴重な生物をはじめ、多様な生態が育まれています。

沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト

沖繩 北部観光情報 検索 ホームページサイト >>> <http://yanbaru-tour.net/>

FACEBOOKサイト >>> <https://www.facebook.com/yanbarutour/>

平成28年度やんばる観光連携推進事業 事業主体:北部広域市町村圏事務組合 事業受託会社:株式会社国建

図 アンケート回答者配布用カレンダー



January 2017

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

主催：北部広域市町村圏事務組合

③アンケート結果

- ・ 沖縄訪問回数が「初めて」、「2回～3回」の方で62%を占めていた。
- ・ 購入された方が82%と多く、購入理由としては「美味しそう」「沖縄らしいから」という理由が多かった。反対に「珍しい」という理由は3%と少なかった。
- ・ 店名の知名度については、「道の駅許田」以外はあまり知られていない結果となった。
- ・ 「やんばる地名」の認知度について「知らない」という回答が17%と非常に低かった。
- ・ 美ら海水族館の後、「目的地を決めていた」と回答した人は38%だった。
- ・ 観光案内コーナーは食事処を勧めて役立ったという方が多かった。

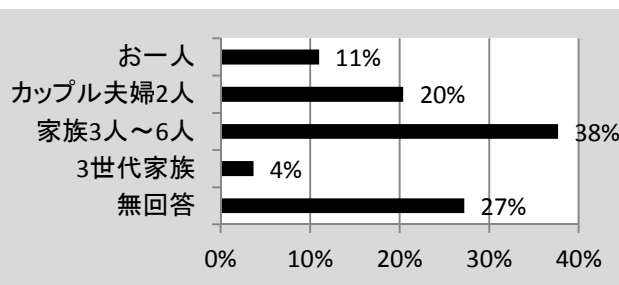
a. 来場者アンケート

表 来場者アンケートの概要(小数点以下は四捨五入)

調査目的	やんばる地域の商品販売について調査するため
調査方法	設問方式（選択・自由記述）
調査対象	やんばるほおぼるカーニバル来場者
回収数	191件
備考欄	アンケート回答者にカレンダー、クリアファイル（H26年度制作）を配布した

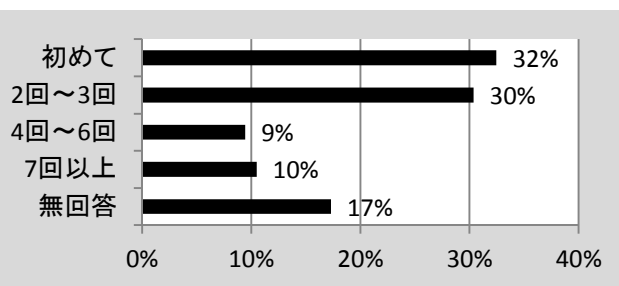
【何人でご旅行されていますか？】

選択肢	回答数	割合
お一人	21	11%
カップル夫婦2人	39	20%
家族3人～6人	72	38%
3世代家族	7	4%
無回答	52	27%
合計	191	100%



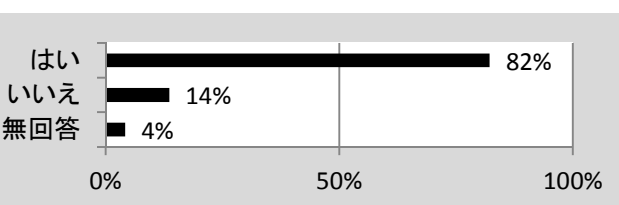
【何度目の沖縄ですか？】

選択肢	選択数	割合
初めて	62	32%
2回～3回	58	30%
4回～6回	18	9%
7回以上	20	10%
無回答	33	17%
合計	191	100%



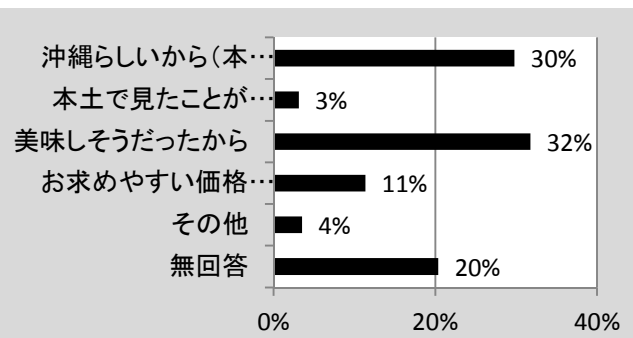
【何か購入されましたか？】

選択肢	選択数	割合
はい	157	82%
いいえ	26	14%
無回答	8	4%
合計	191	100%



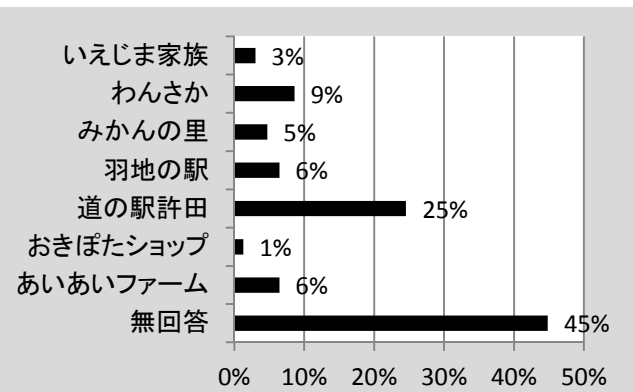
【購入された理由を教えてください（複数可）】

選択肢	選択数	割合
沖縄らしいから（本場だから）	76	30%
本土で見たことがないから（珍しいから）	8	3%
美味しそうだったから	81	32%
お求めやすい価格だったから	29	11%
その他	9	4%
無回答	52	20%
合計	255	100%



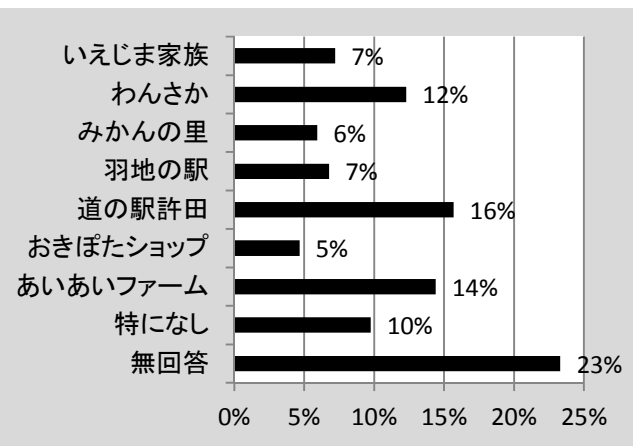
【ご存知のお店はありましたか？（複数可）】

選択肢	選択数	割合
いえじま家族	7	3%
わんさか	20	9%
みかんの里	11	5%
羽地の駅	15	6%
道の駅許田	57	25%
おきぼたショップ	3	1%
あいあいファーム	15	6%
無回答	104	45%
合計	232	100%



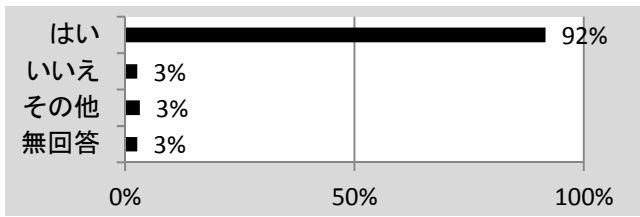
【出店の中で次回利用してみようと思ったお店はありましたか？（複数可）】

選択肢	選択数	割合
いえじま家族	17	7%
わんさか	29	12%
みかんの里	14	6%
羽地の駅	16	7%
道の駅許田	37	16%
おきぼたショップ	11	5%
あいあいファーム	34	14%
特になし	23	10%
無回答	55	23%
合計	236	100%



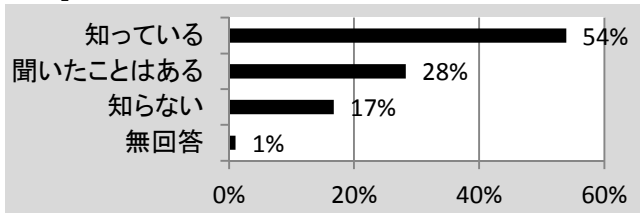
【今後、美ら海水族館でこのようなイベントがあればまた利用したいですか？】

選択肢	選択数	割合
はい	175	92%
いいえ	5	3%
その他	6	3%
無回答	5	3%
合計	191	100%



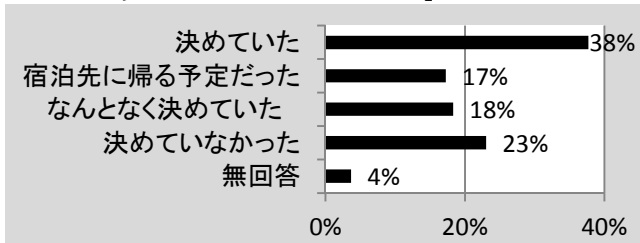
【沖縄北部”やんばる”という地名をご存知ですか？】

選択肢	選択数	割合
知っている	103	54%
聞いたことはある	54	28%
知らない	32	17%
無回答	2	1%
合計	191	100%



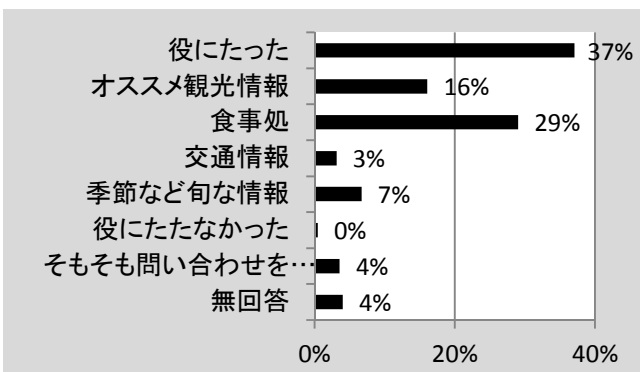
【ご旅行の工程で美ら海水族館利用の後、次の目的地は既に決めていましたか？】

選択肢	選択数	割合
決めていた	72	38%
宿泊先に帰る予定だった	33	17%
なんとなく決めていた	35	18%
決めていなかった	44	23%
無回答	7	4%
合計	191	100%



【目的地を決める際、観光案内コーナーは役に立ちましたか？また役立つ内容は何ですか？（複数可）】

選択肢	選択数	割合
役にたった	83	37%
オススメ観光情報	36	16%
食事処	65	29%
交通情報	7	3%
季節など旬な情報	15	7%
役にたたなかった	1	0%
そもそも問い合わせをしていない	8	4%
無回答	9	4%
合計	224	100%



b. 出店者アンケート（7店舗）

【本イベントにまた参加したいですか？】

- a.参加したい・・・・・・・・・・ 5件
- b.参加したくない・・・・・・・・ 0件
- c.その他（検討中、未記入）・・・・ 2件

【イベントに参加した感想・要望があれば教えてください】

<p><あいあいファーム> とても有意義な時間でした。</p>
<p><羽地の駅> 店舗の宣伝にもなるし、売上も高いのでまた参加したい。客数も多く、美ら海水族館を出た後の通り道なのでとてもいい場所ですが、まだお客さんの需要が把握できなかった。商品の説明やPOP等をもっと工夫して販売したかったです。お客様への声掛けや通訳など完璧なバックアップをしていただき、とても販売しやすかった。他イベントがあるとき等もっと収容があるときに来店してみたいです。またお願いします。</p>
<p><伊豆味みかんの里> 他店と一緒にイベントに参加してみて、刺激を受け、とても勉強になりました。国建、光文堂、スタッフの皆さんにいろいろ協力してもらい助かりました。ありがとうございました。毎年1～2月頃はタンカンが旬なのでその時期に参加してみたいです。</p>
<p><わんさか大浦パーク> 準備は大変であるが、多くのお客さんが訪れるので、販売の機会、お客さんの声を集める機会として素晴らしい場だと思えます。イベント出店に関しては素人なので、今回のように様々なサポートがあると助かります。出店の際、売上をあげるコツを共有できる機会があるとさらに良くなると感じました。</p>
<p><いえじま家族> とてもよかったです。次回も参加したいです。店舗間の間が狭く、前に立ちづらかった。机をくっつけるのであれば、全店舗共通のレジを設置すると、お客さんも買い物がしやすいと思います。</p>

(3)成果と課題

①事業の成果

- 来場者数は2日間で 4,500 人を超え、県内でも最も観光客の訪れる場所の1つである美ら海水族館に隣接する施設でイベントを開催することで、沖縄県民や多くの観光客の方にやんばる地域の特産品を PR することができた。
- ゆるキャラを使った宣伝をすることで、多くの子ども連れの観光客や海外の観光客の方をイベント会場内に誘導することができた。
- 通訳ガイドを配置することで、海外の観光客の方にもきちんと対応することができた。
- 安価で手軽に食べられる商品や、沖縄らしい商品を購入する方が多いことが分かった。
- 出店者は来場者と直接話しをすることができたので、商品のこだわり等を詳しく説明することができた。来場者も興味を持って、話が弾んでいる姿が多く見られた。
- やんばる地域の知名度は、「知っている・聞いたことがある」を合わせると 82%と非常に高い結果を得ることができた。
- 美ら海水族館の後、次の目的地が決まっていない人が 23%と、予想より多いことが分かった。

②事業の課題

- 開催時期が年末ということで、参加できる店舗が少なかった。また、時期によって旬の食べ物が異なるので、今後は開催時期を検討する必要がある。
- 次回のイベント開催時には各市町村にスポットをあて、市町村ごとの写真展のブースを設ける等やんばるの観光資源を PR し、やんばる周知のための工夫をしながらイベントを展開していく必要がある。
- 今後イベントを開催するにあたり、やんばる各地域の物産店・直売所、商工会等が連携する必要がある。
- 会場レイアウトについて出店者から様々な意見があったので、次回開催時にはレイアウトも工夫する必要がある。

第4章 経済効果分析

4-1. 調査の目的

- やんばるに訪れる観光客の消費傾向の把握
- やんばる地域における観光産業の経済効果の把握
- 今後の観光産業の経済効果を向上させるための参考資料を得る
- 平成 29 年度以降の実施計画を策定する

4-2. 調査概要

- やんばる地域の観光産業について、経済効果を分析することで、地域の産業の中での位置づけを見える化する。

(1)観光消費額の推計

- 沖縄県観光統計資料及び WEB アンケート調査より、北部地域の入域率や消費額の参考とする。

(2)産業連関表による経済効果分析

- 北部広域圏版の産業連関表を作成する。
- 観光消費額を基に作成した産業連関表により、北部地域における観光消費による経済効果の分析を行う。

(3)WEB 調査による「やんばる」の認知度調査

- WEB アンケートにより、北部地域の認知度調査を行った。

表 WEB アンケート概要

対象	WEB アンケート業者の会員より、「沖縄旅行で北部地域に来たことのある方」
サンプル数	830 票
年齢層	各年代で均等とした

4-3. 調査結果

(1)平成 27 年度沖縄県観光実態調査による北部地域入域客の分析

本項目は、沖縄県観光政策課が毎年度調査を行っている「観光実態調査」のデータを、統計法(平成 19 年法律第 53 号)第 33 条の規定にしたがって提供を受け、北部地域への入域観光客に関わる実態を明らかにしたものである。

ここでの北部地域へ入域した観光客とは、北部地域を訪れたことがあると回答した者のことである。調査で回答した者の訪問地域全体延べ数と北部地域を訪問したと回答した者の延べ数の割合が、北部地域入域率の推計となる。平成 27 年度沖縄県観光実態調査における回答者は 4,232 名であり、そのうち北部地域を訪れたことがあると回答した者は 2,164 名で、北部地域の入域率は 51.1%となった。

平成 28 年度沖縄県観光実態調査の質問項目から抜粋した質問項目は 12 個であり、以下の表に示す通りである。

表 平成 28 年度沖縄県観光実態調査から抜粋した質問項目

問 1-1 性別	問 1-1 年齢
問 1-3 沖縄への来訪回数	問 1-7 宿泊数
問 1-8 旅行先選択の情報源	問 1-9 同行者
問 1-10 旅行前の期待度	問 1-11 参加形態
問 1-12 支払金額(消費額)	問 2-1 活動内容
問 4-1 利用した交通機関	問 8-2 お勧め度

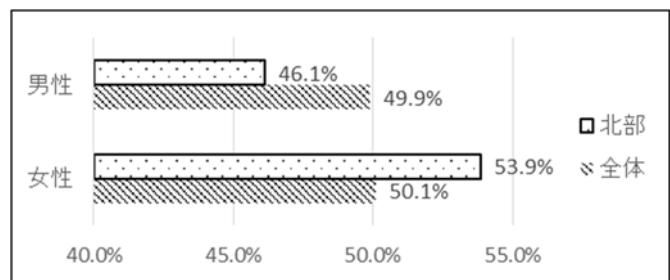
出典：沖縄県(2016)、pp.119-124

ここでは、あくまで全体の旅行の中で北部地域に入域した観光客と全体の調査結果との比較分析となるので、北部地域における詳細な観光客実態調査はウェブ調査で実施し、その結果の一覧は「(2)ウェブ調査による北部観光実態調査の結果分析」、消費額の分析は「(3)観光消費額の推計と北部地域における経済効果分析」の部分で示すものとする。なお、以下の表における網掛け部分は、全体結果と比較して北部地域の結果に特徴があると推測できる部分である。

①性別

性別	全体	北部
男性	49.9%	46.1%
女性	50.1%	53.9%
合計	100.0%	100.0%

図 北部地域入域客の「性別」

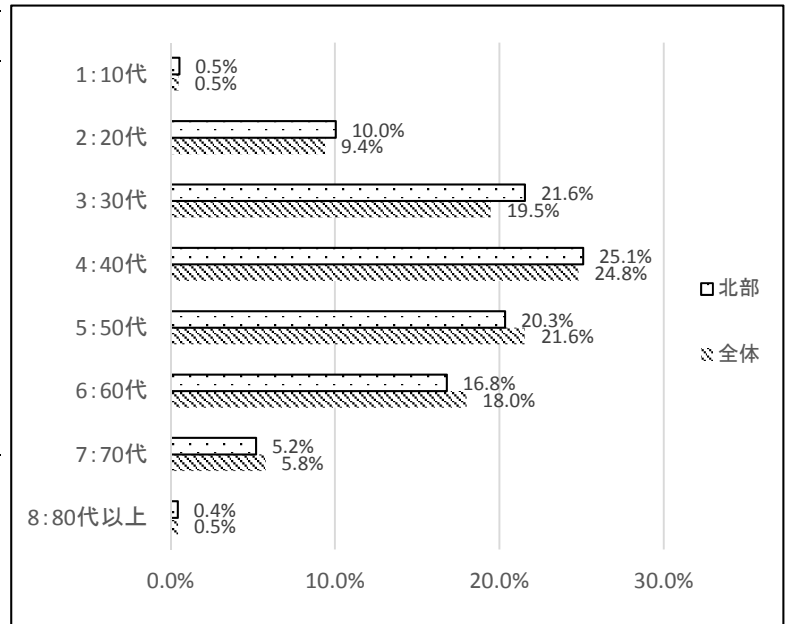


性別に関する北部地域入域観光客の特徴はとくになかったが、女性が多い結果となった。

②年齢

年代	全体	北部
1:10代	0.5%	0.5%
2:20代	9.4%	10.0%
3:30代	19.5%	21.6%
4:40代	24.8%	25.1%
5:50代	21.6%	20.3%
6:60代	18.0%	16.8%
7:70代	5.8%	5.2%
8:80代以上	0.5%	0.4%
合計	100.0%	100.0%

図 1-2 北部地域入域客の「年齢」

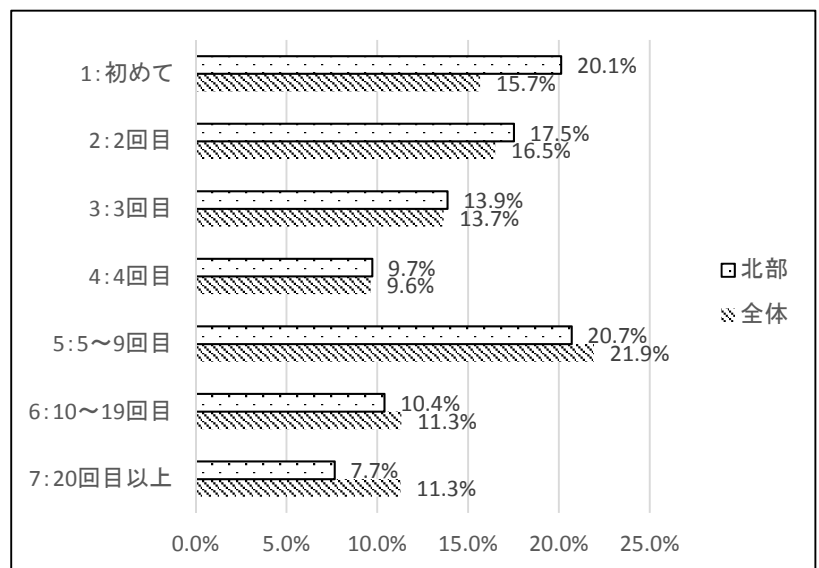


年齢に関する北部地域の入域観光客の特徴は性別と同様にとくになく、全体の調査結果とほぼ同じ割合となった。

③沖縄への来訪回数

沖縄来訪回数	全体	北部
1:初めて	15.7%	20.1%
2:2回目	16.5%	17.5%
3:3回目	13.7%	13.9%
4:4回目	9.6%	9.7%
5:5~9回目	21.9%	20.7%
6:10~19回目	11.3%	10.4%
7:20回目以上	11.3%	7.7%
合計	100.0%	100.0%

図 1-3 北部地域入域客の「来訪回数」



沖縄への来訪回数に関する北部地域の入域観光客の特徴は、「初めて」の全体 15.7%と比較して 20.1%となり、わずかであるが初来訪者が多い結果となった。海洋博記念公園や美ら海水族館の訪問、北部西海岸への宿泊などが影響していると考えられる。